

令和5年8月定例会 教 育 長 報 告

行 事 表	
7月28日(金)	令和5年度能代市山本郡校長会・能代市山本郡退職校長会 教育懇談会 (プラザ都)
7月31日(月)	第3回能代・山本地区教科用図書採択地区協議会 (二ツ井町庁舎 大会議室)
8月 1日(火)	能代市地域おこし協力隊委嘱状交付式 (本庁舎 市長応接室)
〃	市議会全員協議会 (本庁舎 議場)
〃	令和5年度ジュニア・アスリート育成事業「野球セミナー」 (能代球場)
8月 2日(水)	能代市図書館協議会 (二ツ井町庁舎 2階会議室)
8月 3日(木)	教育委員会臨時会 (二ツ井町庁舎 庁議室)
〃	教師ミニミニ体験開講式 (本庁舎 会議室8)
8月 8日(火)	銀河連邦子ども大使出発式 (能代市中央公民館)
8月14日(月)	能代市成人式 (能代市文化会館)
8月24日(木)	教育委員会定例会 (二ツ井町庁舎 大会議室)
8月28日(月)	令和5年度秋田県市町村教育委員会連合会第2回定期総会 (秋田市役所)
9月 5日(火)	市議会定例会 (～28日 本庁舎 議場)
9月22日(金)	第78回国民体育大会、第23回全国障害者スポーツ大会出場選手 壮行会 (能代市総合体育館)
9月26日(火)	教育委員会定例会 (二ツ井町庁舎 大会議室)

承認第6号

臨時代理の承認について

能代市教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則（平成18年能代市教育委員会規則第5号）第3条第1項の規定により、次のとおり臨時に代理したので、同条第2項の規定により承認を求める。

令和5年8月24日提出

能代市教育委員会教育長 高橋 誠也

1 臨時に代理した理由

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第29条の規定により、次の案件について市長からの意見を求められたが、緊急を要し、かつ、教育委員会の会議を開くいとまがなかったので、能代市教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則（平成18年能代市教育委員会規則第5号）第3条第1項の規定により、臨時に代理したものである。

2 臨時代理の内容

地方自治法（昭和22年法律第67号）第179条第1項の規定により、専決処分した令和5年度能代市一般会計補正予算における、教育委員会関係予算に対する同意について

3 臨時代理年月日

令和5年8月9日

承認第13号

専決処分した令和5年度能代市一般会計補正予算の承認を求めることについて

地方自治法（昭和22年法律第67号）第179条第1項の規定により、令和5年8月9日別紙のとおり専決処分したので、同条第3項の規定により報告し、議会の承認を求める。

令和5年9月5日提出

能代市長 齊藤 滋 宣

令和5年度能代市一般会計補正予算（第8号）歳入内訳

(単位：千円)

款 項 目	補正前の額	補 正 額	計	説 明
20款 諸収入 5項 雑入 4目 雑入	187,910	4,323	192,233	○雑入 全国市有物件災害共済会共済金 4,323

令和5年度能代市一般会計補正予算（第8号）歳出内訳

10款 教育費

2項 小学校費

(単位：千円)

目	補正前の額	補正額	計	説明
1 学校管理費	198,511	4,323	202,834	小学校管理費 4,323

議案第33号

第3次能代市スポーツ推進計画策定委員会設置要綱の制定について

第3次能代市スポーツ推進計画策定委員会設置要綱を次のように定める。

令和5年8月24日

能代市教育委員会教育長 高橋 誠也

第3次能代市スポーツ推進計画策定委員会設置要綱

(設置)

第1条 スポーツ基本法（平成23年法律第78号）第10条第1項の規定に基づき、本市におけるスポーツに関する施策を総合的かつ計画的に推進する第3次能代市スポーツ推進計画（以下「計画」という。）を策定するため、第3次能代市スポーツ推進計画策定委員会（以下「策定委員会」という。）を設置する。

(意見及び助言)

第2条 能代市教育委員会（以下「教育委員会」という。）は、計画の策定に当たり、次に掲げる事項について策定委員会の委員に意見及び助言を求めるものとする。

- (1) 計画の基本的な方針に関すること。
- (2) スポーツ及び健康づくりに関する施策に関すること。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、計画の策定に必要な事項に関すること。

(組織)

第3条 策定委員会の委員は10人以内とし、次に掲げる者のうちから教育委員会が委嘱する。

- (1) スポーツ団体等の関係者
- (2) 教育、行政機関等の職員
- (3) 学識経験者

(委員の任期)

第4条 委員の任期は、委嘱した日から計画策定の日までとする。

(委員長及び副委員長)

第5条 策定委員会に委員長及び副委員長を置き、委員の互選によりこれを定める。

- 2 委員長は、策定委員会を代表し、会務を総理する。
- 3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき又は委員長が欠けたとき

は、その職務を代理する。

(会議)

第6条 策定委員会の会議は、委員長が招集し、委員長がその議長となる。

(庶務)

第7条 策定委員会の庶務は、教育委員会教育部生涯学習・スポーツ振興課において処理する。

(その他)

第8条 この告示に定めるもののほか、策定委員会の運営について必要な事項は、策定委員会に諮って委員長が別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この告示は、令和5年9月1日から施行する。

(この告示の失効)

2 この告示は、計画策定の日限り、その効力を失う。

提案理由

第3次能代市スポーツ推進計画策定委員会を設置しようとするものである。

議案第 3 4 号

能代市教育委員会の事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 2 6 条の規定により、能代市教育委員会の事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について、別添のとおり報告書を作成するものとする。

令和 5 年 8 月 2 4 日提出

能代市教育委員会教育長 高 橋 誠 也

提案理由

能代市教育委員会の事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について、報告書を議会に提出するとともに、公表しようとするものである。

能代市教育委員会 事務点検・評価報告書

(令和4年度対象)

令和5年8月

能代市教育委員会

目 次

I	教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について	1
	1 趣旨	
	2 事務点検・評価の実施	
	3 事務点検・評価の方法	
	4 事務点検・評価の流れ	
II	事務点検・評価の結果	3
	1 学識経験者の総合的意見	
	2 施策体系と評価一覧	
	基本目標 1 学校・家庭・地域・行政が一体となった、次代を生きる子どもたちを育むまちづくりの推進	
	① 学校・家庭・地域の連携協力の推進	5
	② 保護者への学習機会の提供等による家庭教育の支援	13
	③ 地域活動に必要な学習機会の提供	15
	④ 読書活動の推進	16
	⑤ 食育の推進	18
	基本目標 2 豊かな人間性を育む学校教育の推進	
	① 主体的で創意ある教育活動の推進	20
	② 心豊かでたくましい子どもを育てる指導	22
	③ 基礎学力の向上を図る学習指導	26
	④ 幅広い識見と実践的指導力を培う教職員の研修	29
	⑤ 安全・安心な学校教育環境の整備	32
	基本目標 3 より心豊かで生き生きとした暮らしにつながる学びの場づくりの推進	
	① 学習の成果を地域に生かす取り組みの推進	38
	② 市民ニーズや地域課題に対応した多様な学習機会の提供と充実	40
	③ 学習を通じた生きがいづくり、仲間づくりの支援	42
	④ 社会教育施設等の適切な運営による、より良い学習環境の充実	44
	基本目標 4 ふるさとの伝統文化の継承と文化芸術の振興	
	① 伝統芸能の継承	48
	② 文化財保護事業の推進	49
	③ 文化芸術の振興	52
	基本目標 5 スポーツで輝く夢のあるまちづくりの推進	
	① 学校と地域における子どものスポーツ機会の充実	56
	② ライフステージに応じたスポーツ活動の推進	58
	③ スポーツを活用した地域の活性化	60
	④ 市民が主体的に参画できるスポーツ環境の整備	62
III	教育委員会の運営状況	64
	1 教育委員会の開催状況	
	2 教育委員の活動状況	

I 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について

1 趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき、効果的な教育行政の推進を図るとともに、市民への説明責任を果たすため、教育委員会自らが、教育行政事務の管理及び執行の状況について点検及び評価（以下「事務点検・評価」という。）を行い、その結果に関する報告書を議会へ提出し公表します。

2 事務点検・評価の実施

能代市では、「学び合う 感謝と思いやりにあふれる“わ”のまち能代」を基本理念に、最優先すべき目標を「学校・家庭・地域・行政が一体となって子どもたちを育むまちづくりの推進」と定め、平成30年度から5年間を計画期間とした「能代市教育等の振興に関する施策の大綱」（以下「大綱」という。）を平成30年3月に策定しました。

事務点検・評価の実施にあたっては、この大綱を踏まえ、次により行います。

(1) 事務点検・評価の位置づけ

事務点検・評価は、大綱の進行管理として実施し、第2次能代市総合計画の進行管理と併せてPDCAサイクルを確立し、より効率的な事業進捗を図るとともに、効果的な教育行政を推進します。

(2) 事務点検・評価の対象

事務点検・評価の対象は、大綱の基本目標及び施策の方向性に沿った主な事業や取組とし、その実績や成果を自己点検、自己評価したうえで、課題と今後の方向性を整理し、次年度の目標を明らかにします。

3 事務点検・評価の方法

事務点検・評価は、目標に対する達成状況や成果等を基準に自己評価を行い、「目標を上回る」、「ほぼ目標どおり」、「目標をやや下回る」、「目標を大幅に下回る」の4区分とし、今後の取組の方向性は、「拡充」、「継続」、「廃止検討」、「その他」の4区分とします。

また、事務点検・評価の客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する次の2名の方から外部評価をしていただきます。

秋田大学教育文化学部長	上 田 晴 彦 氏
元能代第二中学校校長	野 村 重 公 氏

4 事務点検・評価の流れ

(1) 所管課による事務点検・評価

教育部各課及び施設等は、所管の対象事務について、事務点検・評価案（事務点検・評価シート）を取りまとめます。

(2) 内部評価

所管課がまとめた事務点検・評価案を部内検討し、次年度に向けた課題や今後の取

組の方向性を定めます。

(3) 学識経験者による外部評価

事務点検・評価案に関して学識経験者の外部評価を経て、事務点検・評価報告書（以下「報告書」という。）を作成します。

(4) 教育委員会の議決

報告書を教育委員会に諮り議決をします。

(5) 議会への提出及び公表

報告書を議会へ提出し、ホームページ等で市民に公表します。

(6) 報告書の活用

能代市総合計画の第3期実施計画の策定や翌年度予算編成において、事務点検・評価を踏まえた的確な対応に努めます。

<参考>

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

II 事務点検・評価の結果

1 学識経験者の総合的意見

上田 晴彦 氏

令和4年度は昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染者が増加し、冬には過去最多を更新するなど猛威を振るいました。一方でワクチン接種が進み、またウィルスが弱毒化するなど、希望も見えてきた状況下で、各事業に取り組みましたと思います。そのため昨年度と比較しても、多くの事業でより意義深い取り組みがなされたと、総括してよいと思います。特にC（やや下回る）となった項目が無かったのは、その象徴と考えてよいと思います。

評価がA（目標を上回る）としたものの中では「子ども館活動事業」、「学習の成果を地域に生かす取り組みの推進」などが印象に残りました。能代市はバスケットとともに宇宙のまちのイメージがありますし、生涯学習推進事業は高齢化を迎えた能代市でも意義深い取り組みとなると思います。今後とも力を入れた活動を期待しています。評価がB（ほぼ目標通り）となったものも、昨年度に比べると活発に活動できていると思われしますので、来年度も精力的に取り組まれ、大きな成果を上げて頂くことを期待しております。

令和5年度は、アフタコロナを見据えた事業展開・取り組みが求められると思います。昨年度も申し上げましたが、特に以下の2つの観点からさらなる努力を積み重ねて頂きたいと思っております。

第1には、能代市が取り組んでいる各事業は、少子高齢化が進む地域において大変重要な活動となるということです。少子化の中でどのように子供たちを育てていくのか、また人生100年時代を迎えて生涯学習をどのように進めていくのかということ視野に入れながら、積極的に各事業を進めて頂きたいと思っております。第2には、文科省が力を入れて取り組んでいる「令和の日本型学校教育」を、能代市を含めた秋田県でどのように構築していくかということです。個別最適な学びと協働的な学びを実現するためにも、教師の養成・採用・研修等の在り方について、県と協力しながら積極的に取り組んでくださることをお願いします。

以上、色々申し上げましたが、今後とも各事業を積極的に実施されることを期待しております。

野村 重公 氏

令和4年度は、新型コロナ感染拡大防止策を引き続き行いながら、各施策を滞りなく実施することができました。大きな前進といえます。また、施策体系31項目すべてが「ほぼ目標どおり以上」（100%）であったことは大きな成果といえます。施策の方針・目標を明確に設定し、目標達成に向けて精一杯取り組んできた能代市教育委員会の皆様の努力の結果ととらえています。

さて、今年度の施策の成果として次の3点をあげます。

① 昨年度、「目標を下回る（C）」の評価であった「安全・安心な学校教育環境の整備」施策項目が、「ほぼ目標通り（B）」の評価に到達したことは、適切に事業を推し進めた成果ととらえます。児童生徒の命を守ることは、第一に優先するべき事で、「命を守る教育」を充実させたこと、学校の安全を守るための対策を講じたことが高い評価を得る結果となりました。（2-⑤）

② 中・高生にボランティア活動の意義を十分理解させ、他校の生徒と交流を図りながらボランティア活動に取り組ませたことで、社会環境づくりの大切さを学ぶことができる青少年健全育成事業となりました。時代を生きる子どもたちを育むまちづくりの施策となっています。(1-①)

③ 豊かな人間性を育む学校教育を推進していくことを目標に掲げ、基礎学力を確実に身に付けさせるための授業構築、ふるさとキャリア教育の推進、生徒指導の充実、等を通して、児童生徒にとって「知・徳・体」のバランスの取れた力を身に付けさせる魅力ある学校となっています。また、R4年度は学校教育に限らず、出前講座を充実させるなどして、市民の学習意欲を高める社会教育を推し進めることができました。(2-①②③・3-①)

次に、要望として次の2点をあげます。

① 各小・中学校において、特色あるふるさとキャリア教育を推進していただきたいと思います。そのためにも、来年度小・中合同で開催を予定している「未来を創る能代っこふるさと会議」を是非実現し、小・中バランスのとれたふるさと会議を目指してほしいと思います。

② スポーツで輝く夢のあるまちづくりの視点から、少子化における小学校のスポーツ少年団、中学校の部活動の在り方について検討してほしいと考えます。特に、中学校の部活動指導を外部に委ねる「地域移行」については課題が多く、解決が急がれている状況にあります。関係機関が連携を図り、解決に向けて協議を進めていただきたいと思います。

来年度は、今年度の成果・課題をしっかりと分析し、適切なチームで協議を進め、斬新なアイデアをもって各種事業に取り組んでほしいと思います。そして、能代市の最優先目標「学校・家庭・地域・行政が一体となって子どもたちを育むまちづくり」の実現に向けて、全員が一丸となって邁進してほしいと願っています。

2 施策体系と評価一覧

基本目標	
施策の方向性	4年度事業評価
1 学校・家庭・地域・行政が一体となった、次代を生きる子どもたちを育むまちづくりの推進	
①学校・家庭・地域の連携協力の推進（のしろDEマナブッ事業）	B ほぼ目標どおり
① " (放課後子ども教室推進事業)	B ほぼ目標どおり
① " (青少年健全育成事業)	A 目標を上回る
① " (子ども館活動事業)	A 目標を上回る
②保護者への学習機会の提供等による家庭教育の支援	A 目標を上回る
③地域活動に必要な学習機会の提供	B ほぼ目標どおり
④読書活動の推進	B ほぼ目標どおり
⑤食育の推進	B ほぼ目標どおり
2 豊かな人間性を育む学校教育の推進	
①主体的で創意ある教育活動の推進	B ほぼ目標どおり
②心豊でたくましい子どもを育てる指導（自己実現を支える生徒指導）	B ほぼ目標どおり
② " (健やかな心と体の育成等)	B ほぼ目標どおり
③基礎学力の向上を図る学習指導	B ほぼ目標どおり
④幅広い識見と実践的指導力を培う教職員の研修	A 目標を上回る
⑤安全・安心な学校教育環境の整備（学校安全の推進）	B ほぼ目標どおり
⑤ " (就学援助、奨学金貸付事業等の周知徹底と利用促進)	B ほぼ目標どおり
⑤ " (学校施設の老朽化対策等の推進等)	A 目標を上回る
3 より心豊かで生き生きとした暮らしにつながる学びの場づくりの推進	
①学習の成果を地域に生かす取り組みの推進	A 目標を上回る
②市民ニーズや地域課題に対応した多様な学習機会の提供と充実	A 目標を上回る
③学習を通じた生きがいつくり、仲間づくりの支援	B ほぼ目標どおり
④社会教育施設等の適切な運営による、より良い学習環境の充実（公民館管理運営事業等）	B ほぼ目標どおり
④ " (図書館管理運営事業)	B ほぼ目標どおり
4 ふるさとの伝統文化の継承と文化芸術の振興	
①伝統芸能の継承	B ほぼ目標どおり
②文化財保護事業の推進（文化財保護事業）	B ほぼ目標どおり
② " (檜山安東氏城館跡保存管理事業)	B ほぼ目標どおり
② " (埋蔵文化財調査事業)	B ほぼ目標どおり
③文化芸術の振興（市民文化振興事業）	B ほぼ目標どおり
③ " (文化会館主催事業)	A 目標を上回る
5 スポーツで輝く夢のあるまちづくりの推進	
①学校と地域における子どものスポーツ機会の充実	B ほぼ目標どおり
②ライフステージに応じたスポーツ活動の推進	B ほぼ目標どおり
③スポーツを活用した地域の活性化	B ほぼ目標どおり
④市民が主体的に参画できるスポーツ環境の整備	B ほぼ目標どおり

評価内訳	
A 目標を上回る	8
B ほぼ目標どおり	23
C やや下回る	0
D 大幅に下回る	0
計	31

■評価項目中、ほぼ目標どおり以上 31/31 (100%)

事務点検・評価シート

【 生涯学習・スポーツ振興課 】

基本目標	1 学校・家庭・地域・行政が一体となった、次代を生きる子どもたちを育むまちづくりの推進		
施策項目	① 学校・家庭・地域の連携協力の推進		
方針・目標	自分が住む地域への理解を深め、「ふるさと能代」に愛着をもった子どもたちを育成するため、能代の地域全体を学びの場とした体験活動を中心に事業を推進します。		
事業・取組名	のしろDEマナブウ事業		
目標値	マナブウ講座の参加人数で、過去3年平均値を目指します。		
事務事業の実績	<p>マナブウ講座とは、能代の自然や特色を活かし、子ども達が楽しんで体験し、ふるさとを学ぶ講座。（例：米代川のカヌー体験、小友沼の野鳥観察、天神工房での木工体験、檜山探訪、ペットボトルロケットづくりなど）</p> <p>1 マナブウ講座の参加人数及び実施回数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加人数 568人 ・実施回数 73回 <p>2 その他</p> <p>(1) マナブウ・イベントの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミニマナブウ市 ※新型コロナの影響により中止 ・マナブウ市 ※新型コロナの影響により中止 <p>(2) マナブウ・カードの配布 568枚 (R3: 434枚)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童から募集したデザインを基に作成し、マナブウ講座を受講した際に配布。 		
点検・評価	評価	B	A 目標を上回る B ほぼ目標どおり C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る
	<p>1 マナブウ講座の参加人数及び実施回数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加人数 568人 過去3年平均値 615人 (R3: 601人、R2: 581人、R1: 664人) ・実施回数 73回 過去3年平均値 53回 (R3: 65回、R2: 45回、R1: 51回) <p>・3年度までは新型コロナ感染症（以下、「新型コロナ」という。）の感染拡大に伴い中止としていた講座についても、4年度は感染拡大防止策を図りながら実施したことにより、実施回数が増加した。一方で、能代の地域全体を学びの場とした体験活動は、近年、学校の授業にも取り入れられるようになったほか、マナブウ講座以外にも多くの体験活動が実施されるようになったことから参加人数が減少したものと考え。</p> <p>2 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域域資源を活用した米代川での「親子でカヌーに挑戦！」では、カヌーのほか川に棲む生物を調べるなど、例年好評を得ている。 		
課題及び今後の取組の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input checked="" type="checkbox"/> その他（廃止）		
学識経験者の意見	○マナブウ講座は、能代の子どもたちの貴重な体験活動の場を提供するという役割を果たしてきたと思います。4年度をもって廃止となりましたが、今後は学		

	<p>校の授業などにおいて、体験活動を積極的におこなって頂くことを期待しています。</p> <p><input type="checkbox"/>学校のふるさと教育と連携を図り、「ふるさと能代のよさを知り、ふるさとへの愛着心を醸成する」体験活動をこれまで推し進めてきた努力に感謝します。多くの事業を通して、本事業のねらいが達成されたととらえます。今後、ふるさとを学びの場とした体験活動が別事業でも展開されることを期待しています。</p>
--	--

基本目標	1 学校・家庭・地域・行政が一体となった、次代を生きる子どもたちを育むまちづくりの推進																																																														
施策項目	① 学校・家庭・地域の連携協力の推進																																																														
方針・目標	学校・家庭・地域・行政等が協働で、体験活動や見守りなど、子どもを育てる環境づくりに取り組みます。																																																														
事業・取組名	放課後子ども教室推進事業																																																														
目標値	週末体験活動の実施回数を各校、年5回を目指します。																																																														
事務事業の実績	<p>1 週末体験活動の実施回数 小学校全7校のうち、6校が5回、1校が4回実施 (主な活動実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白神ねぎ収穫体験 (淳城西小)・パステル和みアート (淳城南小) ・早朝の野鳥観察 (第四小)・カヌー体験 (第五小) ・鶴形そばのそば打ち体験 (向能代小)・木工体験 (浅内小) ・音楽とクリスマスケーキづくり (二ツ井小) <p>(放課後子ども教室参加者数等の推移) (単位:人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">4年度</th> <th colspan="3">3年度</th> </tr> <tr> <th>学校数</th> <th>日数</th> <th>参加者数</th> <th>学校数</th> <th>日数</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平日図書室等開放</td> <td>7</td> <td>1,373</td> <td>17,859</td> <td>7</td> <td>1,369</td> <td>21,151</td> </tr> <tr> <td>土曜日体育館開放</td> <td>3</td> <td>73</td> <td>1,267</td> <td>3</td> <td>65</td> <td>1,080</td> </tr> <tr> <td>夏休みプール開放</td> <td>7</td> <td>78</td> <td>4,825</td> <td>6</td> <td>70</td> <td>5,601</td> </tr> <tr> <td>週末体験活動</td> <td>7</td> <td>34</td> <td>436</td> <td>7</td> <td>33</td> <td>500</td> </tr> <tr> <td>総合プラン</td> <td>4</td> <td>10</td> <td>76</td> <td>4</td> <td>18</td> <td>261</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>1,568</td> <td>24,463</td> <td></td> <td>1,555</td> <td>28,593</td> </tr> <tr> <td>一日当たりの参加者数</td> <td></td> <td></td> <td>15.6</td> <td></td> <td></td> <td>18.4</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 その他</p> <p>(1) 放課後子ども総合プランに基づく取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第五小 音楽 (2回、延べ13人 うち児童クラブ11人) ・向能代小 ボッチャ体験 (3回、延べ27人 うち児童クラブ13人) ・浅内小 能代凧づくり (2回、20人 うち児童クラブ4人) ・二ツ井小 音楽 (3回、延べ16人 うち児童クラブ3人) <p>(2) 地域学校協働活動 (3年度～全校実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域学校協働活動推進員 (全小・中学校各1名) 小学校7校+中学校6校 推進員13名 (地域の方) ・活動内容 学習支援 (授業支援、校外活動、職場体験、入試面接練習ほか) 安全確保 (下校指導、学区内パトロールなど) 地域連携 (挨拶運動、クリーンアップなど) 学校祭等の支援 (外部指導者による一中若、二中若への支援、伝統芸能体験協力_能代東中など) 		4年度			3年度			学校数	日数	参加者数	学校数	日数	参加者数	平日図書室等開放	7	1,373	17,859	7	1,369	21,151	土曜日体育館開放	3	73	1,267	3	65	1,080	夏休みプール開放	7	78	4,825	6	70	5,601	週末体験活動	7	34	436	7	33	500	総合プラン	4	10	76	4	18	261	合計		1,568	24,463		1,555	28,593	一日当たりの参加者数			15.6			18.4
	4年度			3年度																																																											
	学校数	日数	参加者数	学校数	日数	参加者数																																																									
平日図書室等開放	7	1,373	17,859	7	1,369	21,151																																																									
土曜日体育館開放	3	73	1,267	3	65	1,080																																																									
夏休みプール開放	7	78	4,825	6	70	5,601																																																									
週末体験活動	7	34	436	7	33	500																																																									
総合プラン	4	10	76	4	18	261																																																									
合計		1,568	24,463		1,555	28,593																																																									
一日当たりの参加者数			15.6			18.4																																																									

基本目標	1 学校・家庭・地域・行政が一体となった、次代を生きる子どもたちを育むまちづくりの推進																																			
施策項目	① 学校・家庭・地域の連携協力の推進																																			
方針・目標	関係機関・団体と連携しボランティアや世代間交流の提供、社会環境づくりなどを行うことで、能代市の将来を担う青少年の自立・成長を促します。																																			
事業・取組名	青少年健全育成事業																																			
目標値	中・高生ボランティアの参加割合で、前年度以上を目指します。																																			
事務事業の実績	<p>1 中・高生ボランティアの参加割合 (参加者) 193 人 / (中・高校生数) 2,187 人 (参加割合) 8.8%</p> <p>2 その他</p> <p>(1) 「令和4年度能代市青少年健全育成活動方針」策定 広報やホームページに掲載し周知に努めるとともに、重点的な取組としてSNSやネットゲームによるトラブルの防止を掲げ、保護者へ向けリーフレットの配布や講話などを実施し、注意喚起した。 ・リーフレット配布…全小学校のほか5歳児親子相談の参加者 ・保育所等訪問 …第一保育所ほか全13施設訪問し、啓発活動を実施 ・非行防止街頭キャンペーン …年2回、能代・二ツ井地域それぞれでリーフレットの配布などを行う (参加者:延べ100人)</p> <p>(2) 事故防止の看板設置 (河川、沼等) 68箇所</p> <p>(3) 能代市成人式の開催</p> <p>① 開催年月日等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3年度対象者は8月14日(日)に開催 (参加者201人、男性113人、女性88人) ・4年度対象者は8月15日(月)に開催 (参加者301人、男性1,666人、女性135人) <p>② 記念品</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「木都能代」にちなみ木製品とし、実行委員の選定により、3年度対象者へは「コースター」、4年度対象者へは「名刺入れ(カードケース)」とした。 <p>③ 出席者の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>対象者</th> <th></th> <th>出席者</th> <th>出席率</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R4</td> <td>H13.4.2~H14.4.1生</td> <td>473人</td> <td>301人</td> <td>63.6%</td> <td rowspan="2">※R4で開催</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>H12.4.2~H13.4.1生</td> <td>428人</td> <td>201人</td> <td>47.0%</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>H11.4.2~H12.4.1生</td> <td>469人</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>※開催中止</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>H10.4.2~H11.4.1生</td> <td>511人</td> <td>416人</td> <td>81.4%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>H9.4.2~H10.4.1生</td> <td>529人</td> <td>407人</td> <td>76.9%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		対象者		出席者	出席率		R4	H13.4.2~H14.4.1生	473人	301人	63.6%	※R4で開催	R3	H12.4.2~H13.4.1生	428人	201人	47.0%	R2	H11.4.2~H12.4.1生	469人	—	—	※開催中止	R1	H10.4.2~H11.4.1生	511人	416人	81.4%		H30	H9.4.2~H10.4.1生	529人	407人	76.9%	
	対象者		出席者	出席率																																
R4	H13.4.2~H14.4.1生	473人	301人	63.6%	※R4で開催																															
R3	H12.4.2~H13.4.1生	428人	201人	47.0%																																
R2	H11.4.2~H12.4.1生	469人	—	—	※開催中止																															
R1	H10.4.2~H11.4.1生	511人	416人	81.4%																																
H30	H9.4.2~H10.4.1生	529人	407人	76.9%																																

基本目標	1 学校・家庭・地域・行政が一体となった、次代を生きる子どもたちを育むまちづくりの推進					
施策項目	① 学校・家庭・地域の連携協力の推進					
方針・目標	市民の興味や関心を高めるような、施設を利用したイベント・講座を提供し、子どもから大人まで幅広く気軽に交流できる子ども館を目指します。					
事業・取組名	子ども館活動事業					
目標値	講座満足度アンケートの、「満足」「やや満足」の割合で、90%以上を目指します。					
事務事業の実績	1 講座満足度アンケート【5段階評価で平均4.85(4.86)】					
	項目	満足	やや満足	ふつう	やや不満足	不満足
	人数(人)	616(570)	50(57)	17(16)	1(1)	2(0)
	割合(%)	89.8(88.5)	7.3(8.8)	2.5(2.5)	0.1(0.2)	0.3(0.0)
	※()は3年度数値 ・「満足」「やや満足」の割合 97.1% (3年度:97.3%)					
	2 来館者の推移					
	区分	4年度	3年度	2年度		
	総来館者数	26,742人	26,498人	22,051人		
	プラネタリウム観覧者数	4,959人	5,448人	4,275人		
	事業活動参加者数	303件、3,769人	233件、2,315人	214件、3,679人		
	プラネタリウム団体観覧者数	66件、1,587人	60件、1,548人	40件、1,250人		
	3 イベント・講座等実績 ※()は3年度実績					
	(1) 主なイベント・講座					
	・星空のプラネタリウム♪ (熟睡プラ寝たリウム含む)	2件、75人 (2件、69人)				
	・ペットボトルロケット教室	6件、58人 (12件、89人)				
	・モデルロケット教室	12件、83人 (12件、107人)				
	・コズミックカレッジ	23件、178人 (17件、179人)				
	・「はやぶさの日」イベント	4件、70人 (8件、101人)				
	・自然観察会、自然体験会	4件、54人 (3件、26人)				
	・風の松原チャレンジ!	4件、29人 (3件、28人)				
	・かがくあそび	23件、268人 (12件、169人)				
	・ロボット・プログラミング講座	28件、215人 (23件、158人)				
	・星空観察会、天体現象時観察会・学習会	5件、77人 (5件、122人)				
	・『N.らぼ』の科学実験	2件、27人 (1件、15人)				
	・わくわくミニ工作	12件、144人 (7件、98人)				
	(2) 特別イベント					
	・「はやぶさの日」イベント	プラネタリウム無料投映 10回、279人 (10回、291人)				
		小惑星「リュウグウ」サンプルのレプリカ展示				
		5日間、822人 ※銀河連邦ノシロ共和国との共催				

	<ul style="list-style-type: none"> ・のしろ銀河フェスティバル 2022 2日間、864人 ※各会場のうち、子ども館への入館者数のみ (内容) <ul style="list-style-type: none"> ペットボトルロケット工作教室 2件、32人 ペットボトルロケット打ち上げ大会 2件、50人 作ってあそぼう！ペンシルバルーンロケット 2件、34人 ギャラリートーク「日本のロケット開発と秋田県・能代市」 2件、18人 プラネタリウム無料投映 10回、307人 ・パブリックビューイング H3ロケット試験機1号機／先進光学衛星「だいち3号」(ALOS-3) <ul style="list-style-type: none"> 打上げ 21人 (Crew-5)若田宇宙飛行士 帰還生中継 20人 <p>(3) 宇宙科学への関心を高める工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども館宇宙検定の実施 <table border="1" data-bbox="454 817 1252 952" style="margin-left: 20px; margin-right: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>上級</th> <th>中級</th> <th>初級</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加者数</td> <td>8人(8人)</td> <td>8人(13人)</td> <td>39人(29人)</td> </tr> <tr> <td>合格者数</td> <td>2人(5人)</td> <td>5人(7人)</td> <td>26人(27人)</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども館ウォークラリーの実施 38組、111人(27組、83人) ※さよなら自然科学館「子ども館ウォークラリーで満点を目指せ！」 52人(上記総人数に含む)、うち満点3人、入賞者6人 ・2階展示室「宇宙館」ガイドの実施 54件、782人(31件、585人) 		上級	中級	初級	参加者数	8人(8人)	8人(13人)	39人(29人)	合格者数	2人(5人)	5人(7人)	26人(27人)
	上級	中級	初級										
参加者数	8人(8人)	8人(13人)	39人(29人)										
合格者数	2人(5人)	5人(7人)	26人(27人)										
点検・評価	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center;">評価</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">A</td> <td style="width: 35%;">A 目標を上回る</td> <td style="width: 35%;">B ほぼ目標どおり</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>C 目標をやや下回る</td> <td>D 目標を大幅に下回る</td> </tr> </table> <p>[説明]</p> <p>① 講座満足度アンケートは「満足」「やや満足」と答えた参加者の割合が97.1%と目標を上回っており、引き続き事業内容の充実に努めたい。</p> <p>② できるだけ多くの子ども達が参加できるよう、かがくあそび等人気講座の回数を増やし年間を通して開催した。思ったよりも参加率が上がらなかった講座もあったため、開催時期や内容等を工夫していきたい。</p>	評価	A	A 目標を上回る	B ほぼ目標どおり			C 目標をやや下回る	D 目標を大幅に下回る				
評価	A	A 目標を上回る	B ほぼ目標どおり										
		C 目標をやや下回る	D 目標を大幅に下回る										
課題及び今後の取組の方向性	<p><input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> その他 ()</p> <p>[具体的な課題及び取組]</p> <p>① 展示室「ノビシロ宇宙ラボ」の活用 リニューアルした1階の体験型展示、JAXA宇宙科学研究所の全面協力による2階の衛星模型等を活用し、市が掲げる「宇宙のまち」を感じることが出来る身近な施設として、子どもから大人まで楽しみながら宇宙や科学について学べる機会を提供する。</p> <p>② 宇宙教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モデルロケット教室やペットボトルロケット教室の開催 ・JAXAや日本宇宙少年団ノシロ分団等の関連機関・団体との連携 ・宇宙教育の情報発信(JAXA動画ニュース等の放映) <p>③ 子ども館事業の充実 事業内容PRによるリピーターや新規利用者の獲得を目指し、驚きや感動を引き出す科学実験講座、地域の自然環境に理解を深める体験活動等、内容の充実を図る。</p>												

	<p>④ デジタルプラネタリウムの利用拡大 プラネタリウム番組の放映のほか、熟睡プラネタリウム等の大人でも気軽に星空を楽しめる事業を実施し、利用者層の拡大を図る。</p> <p>⑤ 小・中学校、高校との連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習プラネタリウム（プラネタリウムを用いた天体関連の授業）の実施 ・施設見学、職場体験（中学生）、インターンシップ（高校生）等の受け入れ
<p>学 識 経 験 者 の 意 見</p>	<p>○昨年度に引き続き興味深い内容が盛りだくさんで、「A」評価通りの充実した活動ができていると思います。ノビシロ宇宙ラボの活用やJAXAとの連携など、今後を期待できる活動があり、楽しみです。</p> <p>□講座満足度アンケートによる結果が、「満足」「やや満足」の割合97.1%となっており、昨年同様高い数値となっています。これは、各講座やイベントを充実させた成果ととらえます。今後、子ども館の宇宙教育を推進することで、児童生徒の将来の夢を育成する教育活動が展開されるよう努力してください。</p>

基本目標	1 学校・家庭・地域・行政が一体となった、次代を生きる子どもたちを育むまちづくりの推進																																			
施策項目	② 保護者への学習機会の提供等による家庭教育の支援																																			
方針・目標	核家族化や少子化、産業構造の変化など、子どもや家庭を取り巻く状況が大きく変化しており、保護者に対し様々な手法で学習機会を提供し、家庭教育を支援します。																																			
事業・取組名	家庭教育支援事業																																			
目標値	保護者を対象とした家庭教育関係講座の実施回数で過去3年間の平均値を目指します。																																			
事務事業の実績	<p>1 保護者を対象とした家庭教育関係講座の実施回数 29回</p> <p>2 その他 (1) 家庭教育支援事業推進会議（3月）※書面開催 (2) 家庭教育支援事業報告書を作成し関係者に配布（4月） (3) 家庭教育通信「Only one」を発行（3回） (4) 家庭教育に関する本、家読におすすめの本の貸出</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="2">4年度</th> <th colspan="2">3年度</th> </tr> <tr> <th>利用者数</th> <th>貸出冊数</th> <th>利用者数</th> <th>貸出冊数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>86人</td> <td>108冊</td> <td>50人</td> <td>109冊</td> </tr> </tbody> </table>			4年度		3年度		利用者数	貸出冊数	利用者数	貸出冊数	86人	108冊	50人	109冊																					
4年度		3年度																																		
利用者数	貸出冊数	利用者数	貸出冊数																																	
86人	108冊	50人	109冊																																	
点検・評価	評価	A																																		
		A 目標を上回る B ほぼ目標どおり C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る																																		
	<p>1 保護者を対象とした家庭教育関係講座の実施回数 29回 過去3年間の平均値 18回（R3：15回、R2：19回、R1：22回） （単位：件、人）</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">対象</th> <th rowspan="2">講座名</th> <th colspan="2">4年度</th> <th colspan="2">3年度</th> </tr> <tr> <th>講座数</th> <th>参加者数</th> <th>講座数</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護者</td> <td>家庭教育関係講座 ※中止講座あり</td> <td>29</td> <td>706</td> <td>15</td> <td>808</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">次代の親</td> <td>家庭教育関係講座</td> <td>6</td> <td>364</td> <td>5</td> <td>376</td> </tr> <tr> <td>社会参加活動促進事業 「みんなでAction！」 （命の大切さ事業含む）</td> <td>6</td> <td>中高生 51 受入団体 172</td> <td>6</td> <td>中高生 66 受入団体 215</td> </tr> <tr> <td>祖父母</td> <td>じじばばの孫かて講座</td> <td>中止</td> <td>—</td> <td>中止</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 その他 ・祖父母等を対象とした「孫かて講座」は、新型コロナの影響により中止した。 ・家庭教育通信「Only one」は配布先から好評を得ている。特に子育てで家庭でよく読まれており、「自分の子育てを振り返ることができた」「子育ての見方が広がり、新たな発見があった」「毎回読むのを楽しみにしている」との声が寄せられている。</p>			対象	講座名	4年度		3年度		講座数	参加者数	講座数	参加者数	保護者	家庭教育関係講座 ※中止講座あり	29	706	15	808	次代の親	家庭教育関係講座	6	364	5	376	社会参加活動促進事業 「みんなでAction！」 （命の大切さ事業含む）	6	中高生 51 受入団体 172	6	中高生 66 受入団体 215	祖父母	じじばばの孫かて講座	中止	—	中止	—
対象	講座名	4年度				3年度																														
		講座数	参加者数	講座数	参加者数																															
保護者	家庭教育関係講座 ※中止講座あり	29	706	15	808																															
次代の親	家庭教育関係講座	6	364	5	376																															
	社会参加活動促進事業 「みんなでAction！」 （命の大切さ事業含む）	6	中高生 51 受入団体 172	6	中高生 66 受入団体 215																															
祖父母	じじばばの孫かて講座	中止	—	中止	—																															

<p>課題及び 今後の取組の 方向性</p>	<p><input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>継続 <input type="checkbox"/>廃止検討 <input type="checkbox"/>その他（ ）</p> <p>[具体的な課題及び取組] 家庭教育に関する本、家読におすすめの本の貸出が減少傾向にあり、気軽に読める本の選書等が課題となっている。</p>
<p>学識経験者 の意見</p>	<p>○講座数・参加者数を見ると、新型コロナウイルス感染症による影響から徐々に抜け出しつつある姿が目に見えます。来年度は祖父母等を対象とした「孫かて講座」の実施など、アフタコロナに向けた歩みを進めてください。</p> <p>□保護者を対象とした家庭教育関係講座の実施回数は、過去3年間の平均値が18回、4年度は29回と増加しており、目標が達成されたととらえます。今後は参加者数も増加できるよう、講座内容を工夫して進めてほしいと思います。</p> <p>□家庭教育通信「Only one」は、家庭教育を支援していく上で非常に効果的です。</p>

基本目標	1 学校・家庭・地域・行政が一体となった、次代を生きる子どもたちを育むまちづくりの推進		
施策項目	③ 地域活動に必要な学習機会の提供		
方針・目標	子どもの体験活動等に関わるコーディネーター等を対象に学習機会及び情報交換の場を提供し、資質向上を図り体験活動の推進・充実を図ります。		
事業・取組名	コーディネーター等研修事業		
目標値	事業や活動の充実を図るため、担当者を対象とした学習機会を提供し、資質向上や活動の充実を図ります。		
事務事業の実績	<p>1 放課後子ども教室コーディネーター会議（4/20 開催） 参加者 6 人（対象者 7 人） 内 容 コーディネーターの役割や情報交換</p> <p>2 普通救命講習会 7/13、7/14、7/16 の日程により実施 受講者 24 名（管理員全員） 夏休み中のプール開放等に伴い、安全管理員の任務及び救命法について学ぶ。 ※受講者は未講習または前回講習を受けてから 3 年以上経過している方が対象</p> <p>3 地域学校協働活動推進員等を対象とした研修会等 校長、教頭、担当教諭、活動推進員を対象に関係者会議を開催した。（1/11） また、県主催の研修会への参加をすすめ、活動の充実と推進員の資質向上を図った。（6/3、7/28、2/3）</p>		
点検・評価	評価	B	A 目標を上回る B ほぼ目標どおり C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る
	県が主催するオンライン研修会等に参加し、コーディネーター等の資質向上を図ることができたことから、評価はほぼ目標どおりの「B」とした。		
課題及び今後の取組の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
	<p>[具体的な課題及び取組]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個々のコーディネーター力を尊重しつつ、豊富な社会経験を持つ外部人材との協力も得ながらスキルアップを図る必要がある。 ・コーディネーターの高齢化に伴い、新たな後継者の発掘や育成につながるよう取り組む必要がある。 		
学識経験者の意見	<p>○4年度はコロナ禍で中止となった普通救命講習会を実施できたことは、大変良かったと思います。コーディネーターの高齢化はどこでも問題となっていますので、後継者の発掘・育成への努力を続けてください。</p> <p>□3年度、コロナの影響で中止となった普通救命講習会を、4年度実施したことは適切な判断だといえます。これからも講習会を通して、安全管理員の任務と救命法についてしっかり指導を行い、水の事故0につなげてほしいと願っています。</p>		

基本目標	1 学校・家庭・地域・行政が一体となった、次代を生きる子どもたちを育むまちづくりの推進
施策項目	④ 読書活動の推進
方針・目標	家庭・地域・学校等が連携し、発達段階に応じた取り組みを進め、本市の子どもが気軽に読書に親しむことができる環境の整備を目指します。
事業・取組名	読書活動推進事業
目標値	県学習状況調査による不読率で県平均を下回るよう目指します。 ※不読率とは、1カ月に1冊も本を読まない子どもの割合
事務事業の実績	<p>第2次能代市子ども読書活動推進計画（計画期間は R2～R6 年度の5年間）に基づいた取組を行った。</p> <p>1 啓発活動</p> <p>(1) 読書活動推進関係事業の実施</p> <p>(2) 読書記録用「能代っ子家読通帳」の作成・配布 ・市内小学校児童・中学校生徒へ配布した。</p> <p>(3) 秋田杉製ブックスタンド作成・配布 ・小学4年生を対象に、秋田杉製ブックスタンドキットを配布した。 ・図工の授業で組み立てを行い、家に持ち帰って活用してもらった。</p> <p>(4) うちどくDAY（毎月第3日曜日）のポスターを作成し、小・中学校及び関係機関へ配布した。</p> <p>(5) 各学校への働きかけ ・各校の読書活動に関するアンケートを実施し、読書活動の充実へ向けた各校の取組を共有した。（8/3 学校図書支援員研修会） ・学校教育課と市立図書館、生涯学習・スポーツ振興課が連携して7月7日に「読書活動推進研修会」を開催し、各校の図書館担当教諭及び図書支援員の共通理解を図るとともに、読書指導や学校図書館運営に関する力量の向上に努めた。</p> <p>2 環境整備</p> <p>(1) 「読んでみて！わたしの推し本」図書紹介（広報のしろ掲載 全11回） ・学校や地域おこし協力隊等に本の紹介をお願いし、毎月10日号へ掲載した。</p> <p>(2) 指定管理者と連携した図書館の管理運営 ・指定管理者と連携した事業の開催や定期的な打ち合わせを実施することで、図書館の運営・取組実施への連携・協力を努めた。</p> <p>(3) 学校図書館図書標準達成状況の改善 ・各校の学校図書館図書標準達成状況に応じた図書整備費を措置した。 ・年度末に図書標準達成状況調査を行って状況を把握し、校長会、教頭会、各研修会等で改善を図るよう説明した。</p>

【 学校教育課 】【 生涯学習・スポーツ振興課 】

基本目標	1 学校・家庭・地域・行政が一体となった、次代を生きる子どもたちを育むまちづくりの推進
施策項目	⑤ 食育の推進
方針・目標	1 健康的で豊かな食生活を実践し、食育推進に取り組みます。 2 食の安全・安心に関する知識の提供に努めます。
事業・取組名	1 学校給食事業 2 食について理解を深める体験活動事業
目標値	1 朝食を毎日食べる子どもの割合を増やします。 2 学校給食における地場産農産物の使用に努めます。
事務事業の実績	<p>1 学校給食事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食だより（予定献立表）や食育だよりを発行し、家庭への食育情報を提供。朝ごはんの効果等をアピールし、「早寝・早起き、朝ご飯」を推進した。 (各調理場月1回) ・栄養教諭が給食時間に訪問し、食事に関する情報提供を行った。 (南部1回、北部4回、二ツ井4回) ・栄養教諭による、食事と健康に関する食育授業を行った。 (南部15回、北部2回、二ツ井9回) ・食育の日（毎月19日）に地場産物を多く使った献立を提供した。 (各調理場月1回) ・地域の食材をふんだんに使い、能代らしさがつまった「天空の能代まんぷく給食」（3調理場栄養士考案市内小中学校統一メニュー R3～）を提供。当日は、給食一口メモや家庭へのお便りを配布し、地域の食材への理解を深めた。 ・広報のしるしに学校給食の特集が掲載されたことで、児童生徒・家庭・地域の方々が学校給食を知るよい機会になった。 ・給食写真や給食に関する話題、地域の食材を第四小学校のブログで紹介。栄養教諭が毎日更新している。 (南部共同調理場) ・中学校3年生を対象に、もう一度食べたい給食のアンケートをとり、卒業間近に「リクエスト給食」を提供し、好評であった。 (北部共同調理場) ・家庭科で6年生が考案した学校給食献立を、献立表で紹介するとともに実際に給食で提供した。 (二ツ井共同調理場) ・「給食・イン・ザ・ワールド」と称し、世界各国の料理を提供。食を通して異国文化について理解を深めることができた。 (二ツ井共同調理場) <p>2 食について理解を深める体験活動事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食保護者試食会やPTAにおいて、食育に関する講話、資料提供を行った。 (南部共同調理場) ・放課後子ども教室において食に関する講座を開催した。（8回、延べ154人） ・中央公民館、二ツ井公民館、各地区公民館などにおいて、食に関する講座を開催した。 (16回、延べ178人)

点検・評価	評価	B	A 目標を上回る C 目標をやや下回る	B ほぼ目標どおり D 目標を大幅に下回る																							
	<p>[説明]</p> <p>① 朝食を毎日食べる子どもの割合【全国学力・学習状況調査】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>4年度</th> <th>3年度</th> <th>2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市</td> <td>96.4%</td> <td>94.6%</td> <td>96.5%</td> </tr> <tr> <td>県平均</td> <td>96.2%</td> <td>95.9%</td> <td>96.2%</td> </tr> </tbody> </table> <p>② 学校給食における主な県内産野菜の使用割合【学校給食物資使用調査】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>3年度</th> <th>2年度</th> <th>元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市</td> <td>37.6%</td> <td>24.9%</td> <td>35.6%</td> </tr> <tr> <td>県平均</td> <td>31.5%</td> <td>29.6%</td> <td>33.9%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※食育推進の目標値 40%</p> <p>[評価]</p> <p>使用割合は、ほぼ目標どおりの成果となった。産地直売所の協力を得て、納入時期や野菜の種類、量、価格などの年間見込を情報提供していただくことで、地場産物を献立に取り入れやすくなってきた。生産者から、珍しい野菜の紹介もあり、使用できる品目の幅も広がりつつある。</p>					4年度	3年度	2年度	市	96.4%	94.6%	96.5%	県平均	96.2%	95.9%	96.2%		3年度	2年度	元年度	市	37.6%	24.9%	35.6%	県平均	31.5%	29.6%
	4年度	3年度	2年度																								
市	96.4%	94.6%	96.5%																								
県平均	96.2%	95.9%	96.2%																								
	3年度	2年度	元年度																								
市	37.6%	24.9%	35.6%																								
県平均	31.5%	29.6%	33.9%																								
課題及び今後の取組の方向性	<p><input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> その他 ()</p> <p>[具体的な課題及び取組]</p> <p>① 栄養教諭による食育指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄養教諭による教科等と連携した栄養指導を行う。 ・保護者へのレシピ配付や親子で参加する教室の開催、給食試食会での栄養教諭の講話など、家庭で話題にできる講座の実施を推進していく。 <p>② 学校給食における地場産農産物の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地場産野菜等は、安定した量の確保の課題がある。引き続き、産地直売所、市内青果店と情報を共有しながら、積極的に活用するよう努めていく。 ・市内小中学校統一メニュー「天空の能代まんぷく給食」について、さらに周知を広げていきたい。マスコミへの情報提供を積極的に行い、テレビや新聞に取り上げてもらうことにより、家庭や地域へ学校給食の地場産物活用等についてPRしていく。 																										
学識経験者の意見	<p>○4年度は朝食を毎日食べる子どもの割合、および地場産農産物の使用割合が、2年度並みに回復するなど、良い方向に向かっていることが分かりました。関係各位のご努力の賜物だと思います。</p> <p><input type="checkbox"/>「早寝、早起き、朝ご飯」を推奨したことにより、朝食を毎日食べる子どもの割合が増えたことは成果といえます。</p> <p><input type="checkbox"/>給食については、塩分を一定の量に抑えつつも、児童生徒にとって「おいしい給食」「楽しい給食」を目指して献立を作成してほしいと思います。そのことが残量減につながると考えます。</p>																										

基本目標	2 豊かな人間性を育む学校教育の推進																																															
施策項目	① 主体的で創意ある教育活動の推進																																															
方針・目標	児童生徒の感性を磨き、創造力を豊かにするために、ふるさと教育の推進や宇宙・科学技術の学びの充実を図るなど、各学校の主体的で創意ある教育活動を推進します。																																															
事業・取組名	1 ふるさと教育・キャリア教育の趣旨を生かした教育活動の推進 2 地域と学校が一体となる学校運営協議会（コミュニティ・スクール）活動の充実																																															
目標値	1 県学習状況調査質問紙の「地域のためになる活動に進んで取り組みたいと思う」の項目で、県平均を上回るよう目指します。 2 各学校の特色ある教育活動について学校運営協議会で評価し、その結果を公表します。また地域と一体となった活動を地域に発信します。																																															
事務事業の実績	1 ふるさと教育の推進と地域に根ざしたキャリア教育の充実 3年ぶりに能代っ子中学生ふるさと会議が開催され、4年度は淳城南小の6年生も参加した。 各校において十分な感染対策を施し、可能な限り特色あるキャリア教育が実施された。 2 学習指導要領の趣旨を踏まえた特色ある教育計画の立案と実践・評価 学校・家庭・地域が相互に連携した教育活動の在り方を検証するため、「あきた型学校評価システム」による学校関係者評価を実施し、市内13校全ての小・中学校でその結果を公表した。																																															
点検・評価	評価	B	A 目標を上回る B ほぼ目標どおり C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る																																													
	<p>[説明]</p> <p>1 ふるさと教育・キャリア教育の趣旨を生かした教育活動の推進</p> <p>① ニツ井小学校、ニツ井中学校の取り組み例 模擬会社「きみまちカンパニー」を設立して2年目となる4年度は、「地域と人を元気にし、もっと地域のことをアピールしたい」という社長（生徒会長）の思いを受け、企画、観光、福祉、農業、産業の5事業部で活動を進めた。11月3日の「きみまちカンパニーフェスティバル」は、商店街を歩行者天国にして、空き店舗等を利用したり、道路上にテントを設営したりして行った。これまでの学びの成果を事業部ごとにアピールした。</p> <p>② 県学習状況調査 質問紙結果 【地域のためになる活動に進んで取り組みたいと思う】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">学 年</th> <th colspan="2">4年度</th> <th rowspan="2">比較</th> <th colspan="2">3年度</th> <th rowspan="2">比較</th> </tr> <tr> <th>能代市</th> <th>県平均</th> <th>能代市</th> <th>県平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学4年</td> <td>89.0%</td> <td>91.0%</td> <td>-2.0%</td> <td>94.2%</td> <td>92.4%</td> <td>+1.8P</td> </tr> <tr> <td>小学5年</td> <td>95.0%</td> <td>89.0%</td> <td>+6.0%</td> <td>92.9%</td> <td>90.7%</td> <td>+2.2P</td> </tr> <tr> <td>小学6年</td> <td>92.0%</td> <td>89.0%</td> <td>+3.0%</td> <td>92.4%</td> <td>90.5%</td> <td>+1.9P</td> </tr> <tr> <td>中学1年</td> <td>88.0%</td> <td>89.0%</td> <td>-1.0%</td> <td>91.5%</td> <td>90.1%</td> <td>+1.4P</td> </tr> <tr> <td>中学2年</td> <td>90.0%</td> <td>87.0%</td> <td>+3.0%</td> <td>91.2%</td> <td>88.6%</td> <td>+2.6P</td> </tr> </tbody> </table> <p>県平均をやや下回った学年もあった。</p>			学 年	4年度		比較	3年度		比較	能代市	県平均	能代市	県平均	小学4年	89.0%	91.0%	-2.0%	94.2%	92.4%	+1.8P	小学5年	95.0%	89.0%	+6.0%	92.9%	90.7%	+2.2P	小学6年	92.0%	89.0%	+3.0%	92.4%	90.5%	+1.9P	中学1年	88.0%	89.0%	-1.0%	91.5%	90.1%	+1.4P	中学2年	90.0%	87.0%	+3.0%	91.2%	88.6%
学 年	4年度		比較		3年度			比較																																								
	能代市	県平均		能代市	県平均																																											
小学4年	89.0%	91.0%	-2.0%	94.2%	92.4%	+1.8P																																										
小学5年	95.0%	89.0%	+6.0%	92.9%	90.7%	+2.2P																																										
小学6年	92.0%	89.0%	+3.0%	92.4%	90.5%	+1.9P																																										
中学1年	88.0%	89.0%	-1.0%	91.5%	90.1%	+1.4P																																										
中学2年	90.0%	87.0%	+3.0%	91.2%	88.6%	+2.6P																																										

	<p>2 地域と学校が一体となる学校運営協議会（コミュニティ・スクール）制度の構築</p> <p>「あきた型学校評価システム」により、学校関係者評価を実施し、全ての小・中学校において学校報やホームページ等でその結果を公表し、その評価をもとに、学校運営協議会等と連携して、改善に生かした。また、地域学校協働活動推進員と連携して、ふるさと・キャリア教育を進めることができた。</p>
<p>課題及び今後の取組の方向性</p>	<p><input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>継続 <input type="checkbox"/>廃止検討 <input type="checkbox"/>その他（ ）</p> <p>[具体的な課題及び取組]</p> <p>1 学習指導要領の趣旨を踏まえた特色ある教育計画の立案と実践・評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設置4年目となった学校運営協議会において、学校や地域の実情に応じた特色ある教育計画の立案と実践・評価がなされるように同協議会を有効に機能させる。 <p>2 ふるさと教育の推進と地域に根ざしたキャリア教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「未来を創る能代っ子ふるさと会議」に名称を変えて開催する。議会形式を継続し、代表校2校による提言に基づいた全体での話合いの充実を図る。5年度から、全ての小学6年生も参加する。 ・県と連携した事業として、中学生ふるさと企業説明会を継続する。（山本郡三町と合同） ・二ツ井小学校、二ツ井中学校における取組を、地域創生として引き続き推進する。また、同地区の取組を市内各小・中学校に紹介する。
<p>学識経験者の意見</p>	<p>○ふるさと教育の推進と地域に根ざしたキャリア教育の充実は、地域創生を考えると大変重要になると思います。二ツ井小学校・二ツ井中学校における取組を参考に、各学校が独自の活動を推進して頂ければと希望しております。</p> <p>□本市におけるふるさと教育は、児童生徒に「ふるさとのよさの発見し、ふるさとを愛する心を育てる。」ために、非常に有効な体験学習となっています。今後も心の教育の充実・発展を目指したふるさと教育の推進を図ってください。</p>

基本目標	2 豊かな人間性を育む学校教育の推進
施策項目	② 心豊かでたくましい子どもを育てる指導
方針・目標	いじめや不登校等の問題について、未然防止や早期発見等、適切な対応に努めます。
事業・取組名	自己実現を支える生徒指導
目標値	1 県学習状況調査の質問紙において、「学校が楽しい」の項目が県平均を上回るようにします。 2 不登校の出現率が県平均を下回るようにします。
事務事業の実績	自己実現を支える生徒指導 1 心の教室相談員の配置 ・小学校7校中5校に5名（兼務なし）、中学校6校中6校に6名（兼務なし）配置 ・1年間に心の教室を訪れた人数（延べ人数） 14,378人、相談件数297件 2 スクールカウンセラーの配置（県委託） 中学校：6校中6校に3人（兼務あり）配置 ・1年間でスクールカウンセラーを利用した人数（延べ人数） 368人 3 適応指導教室「はまなす広場」の設置（不登校児童生徒への個別指導） ・在籍児童生徒数18人 週に1回～数回の通級等 ・登校に向けて風の子電話との連携を強化 4 「風の子電話」の設置（電話や来所による教育相談） ・年間相談件数 電話16件、来所49件（不登校50件、学習関係13件） ・学校や教育研究所、適応指導教室、他機関との連携 5 不登校保護者会の開催（不登校児童生徒をもつ保護者の援助活動） ・毎月第3木曜日19:00～21:00 ・12回開催、保護者延べ13人参加。生徒の改善（回復傾向）へ関わる。 6 各小・中学校への指導 ・不登校対策事業についてのリーフレット等の保護者への配付と市ホームページへの掲載 ・各校におけるいじめ・不登校の現状や支援を要する児童生徒についての月例報告とそれに対する指導助言 ・市生徒指導主事会での児童生徒に関する情報交換やいじめ・不登校未然防止の取組の呼びかけ ・Q-Uアンケート（楽しい学校生活を送るためのアンケート）の実施と分析。小学校5・6年、中学校1・2年で年2回実施。中学校1年はよりきめ細かな分析ができるhyper-QUを実施。 7 関係機関との連携 ・月に1回、教育委員会生徒指導担当、児童生徒支援アドバイザー、子育て支援課家庭教育相談員で情報交換会を開催。学校だけでは解決できない生徒指導事案について、関係機関と連携したことによって解決事案が増えてきている。

	己有用感・自尊感情を高めることができる「魅力ある学校づくり」を進めることが大切だと考えます。
--	--

基本目標	2 豊かな人間性を育む学校教育の推進																																																																																								
施策項目	② 心豊かでたくましい子どもを育てる指導																																																																																								
方針・目標	生き方を探求し自立を促す指導、健やかな心と体の育成、命の教育や防災教育等を推進します。																																																																																								
事業・取組名	1 健やかな心と体の育成 2 いのちの教育あったかエリア事業																																																																																								
目標値	1 新体力テストにおいて、体力合計点が県平均を上回る学年の割合を80%以上にします。 2 事業実施後のアンケートで、拠点校である向能代小学校・東雲中学校の「思いやり」に関する肯定的回答が、実施前より向上することを目指します。																																																																																								
事務事業の実績	1 新体力テストの実施と分析を行い、市教委訪問で各校の課題を確認し、助言した。 2 いのちの教育あったかエリア事業の拠点校の中核職員が、2月に行われた県教育研究発表会において、自校の取組と成果、課題等について発表した。																																																																																								
点検・評価	評価	B	A 目標を上回る B ほぼ目標どおり C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る																																																																																						
	[説明]																																																																																								
	1 新体力テストでは、ほぼ全ての学年、男女で県平均を上回っている。																																																																																								
	【4年度新体力テストの体力合計点平均の比較】																																																																																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">小1</th> <th colspan="2">小2</th> <th colspan="2">小3</th> <th colspan="2">小4</th> <th colspan="2">小5</th> <th colspan="2">小6</th> </tr> <tr> <th>男子</th> <th>女子</th> <th>男子</th> <th>女子</th> <th>男子</th> <th>女子</th> <th>男子</th> <th>女子</th> <th>男子</th> <th>女子</th> <th>男子</th> <th>女子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>秋田県</td> <td>31.18</td> <td>32.21</td> <td>38.34</td> <td>39.89</td> <td>44.13</td> <td>45.81</td> <td>49.40</td> <td>52.29</td> <td>55.26</td> <td>58.08</td> <td>60.79</td> <td>62.88</td> </tr> <tr> <td>能代市</td> <td>33.01</td> <td>32.93</td> <td>39.55</td> <td>40.80</td> <td>45.51</td> <td>49.12</td> <td>50.34</td> <td>53.98</td> <td>56.42</td> <td>59.88</td> <td>61.05</td> <td>62.59</td> </tr> <tr> <td>比較</td> <td>1.83</td> <td>0.72</td> <td>1.21</td> <td>0.91</td> <td>1.38</td> <td>3.31</td> <td>0.94</td> <td>1.69</td> <td>1.16</td> <td>1.80</td> <td>0.26</td> <td>-0.29</td> </tr> <tr> <td>前年度比</td> <td></td> <td></td> <td>2.13</td> <td>1.96</td> <td>2.62</td> <td>4.34</td> <td>1.43</td> <td>2.09</td> <td>0.83</td> <td>0.58</td> <td>-0.28</td> <td>0.94</td> </tr> </tbody> </table>													小1		小2		小3		小4		小5		小6		男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	秋田県	31.18	32.21	38.34	39.89	44.13	45.81	49.40	52.29	55.26	58.08	60.79	62.88	能代市	33.01	32.93	39.55	40.80	45.51	49.12	50.34	53.98	56.42	59.88	61.05	62.59	比較	1.83	0.72	1.21	0.91	1.38	3.31	0.94	1.69	1.16	1.80	0.26	-0.29	前年度比			2.13	1.96	2.62	4.34	1.43	2.09	0.83	0.58	-0.28	0.94
	小1		小2		小3		小4		小5		小6																																																																														
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子																																																																													
秋田県	31.18	32.21	38.34	39.89	44.13	45.81	49.40	52.29	55.26	58.08	60.79	62.88																																																																													
能代市	33.01	32.93	39.55	40.80	45.51	49.12	50.34	53.98	56.42	59.88	61.05	62.59																																																																													
比較	1.83	0.72	1.21	0.91	1.38	3.31	0.94	1.69	1.16	1.80	0.26	-0.29																																																																													
前年度比			2.13	1.96	2.62	4.34	1.43	2.09	0.83	0.58	-0.28	0.94																																																																													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">中1</th> <th colspan="2">中2</th> <th colspan="2">中3</th> </tr> <tr> <th>男子</th> <th>女子</th> <th>男子</th> <th>女子</th> <th>男子</th> <th>女子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>秋田県</td> <td>34.65</td> <td>44.81</td> <td>44.37</td> <td>50.21</td> <td>51.00</td> <td>52.78</td> </tr> <tr> <td>能代市</td> <td>32.46</td> <td>46.11</td> <td>44.81</td> <td>53.78</td> <td>51.76</td> <td>52.68</td> </tr> <tr> <td>比較</td> <td>-2.19</td> <td>1.30</td> <td>0.44</td> <td>3.57</td> <td>0.76</td> <td>-0.10</td> </tr> <tr> <td>前年度比</td> <td>0.53</td> <td>3.11</td> <td>-0.11</td> <td>3.05</td> <td>1.24</td> <td>0.31</td> </tr> </tbody> </table> <p>※前年度比は、当該学年の1年前の県平均との比較値 例：中2男子の-0.11は中1時の県平均との比較値</p>													中1		中2		中3		男子	女子	男子	女子	男子	女子	秋田県	34.65	44.81	44.37	50.21	51.00	52.78	能代市	32.46	46.11	44.81	53.78	51.76	52.68	比較	-2.19	1.30	0.44	3.57	0.76	-0.10	前年度比	0.53	3.11	-0.11	3.05	1.24	0.31																																				
	中1		中2		中3																																																																																				
	男子	女子	男子	女子	男子	女子																																																																																			
秋田県	34.65	44.81	44.37	50.21	51.00	52.78																																																																																			
能代市	32.46	46.11	44.81	53.78	51.76	52.68																																																																																			
比較	-2.19	1.30	0.44	3.57	0.76	-0.10																																																																																			
前年度比	0.53	3.11	-0.11	3.05	1.24	0.31																																																																																			
	2 いのちの教育あったかエリア事業実施後に行ったアンケートで、「人が困っているときは、進んで親切にしていますか。」という設問に対して、小学校では肯定的回答が実施前よりやや増加したが、中学校では減少した。																																																																																								
	【設問 人が困っているときは、進んで親切にしていますか。】																																																																																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>7月</th> <th>12月</th> <th>比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学生</td> <td>91.8%</td> <td>92.4%</td> <td>+0.6p</td> </tr> <tr> <td>中学生</td> <td>100.0%</td> <td>95.5%</td> <td>-4.5p</td> </tr> </tbody> </table>				7月	12月	比較	小学生	91.8%	92.4%	+0.6p	中学生	100.0%	95.5%	-4.5p																																																																										
	7月	12月	比較																																																																																						
小学生	91.8%	92.4%	+0.6p																																																																																						
中学生	100.0%	95.5%	-4.5p																																																																																						

基本目標	2 豊かな人間性を育む学校教育の推進
施策項目	③ 基礎学力の向上を図る学習指導
方針・目標	児童生徒の基礎学力の確実な定着と向上を図るとともに、主体的・対話的で深い学びの実現を目指します。
事業・取組名	<ol style="list-style-type: none"> 1 基本的な学習習慣の確立 2 子どもが主体的に取り組める学習指導 3 評価を生かした授業改善 4 ねらいに即したICTの効果的な活用
目標値	<ol style="list-style-type: none"> 1 県学習状況調査の学年別の結果において、県平均を上回る教科の割合を80%以上にします。 2 「学校がある日の勉強時間」(1時間以上勉強している児童生徒の割合)が県平均を上回るようにします。 3 学習意欲に関する肯定的回答が小学生で80%以上、中学生で60%以上、児童生徒同士の学び合いに関する肯定的回答が、小・中学校とも90%以上を目指します。 4 ICT機器を活用した授業改善を推進し、研修会や教育情報紙でICTを活用した授業や効果的な活用方法について紹介します。
事務事業の実績	<ol style="list-style-type: none"> 1 基本的な学習習慣の確立 県学習状況調査の学校分析と補充・改善の実施、学校訪問等での情報交換及び指導助言等を実施した。 2 子どもが主体的に取り組める学習指導 <ol style="list-style-type: none"> ① 県学習状況調査の学校分析と補充・改善の実施、研究主任会での情報交換及び指導助言等を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・個々の児童生徒の補充学習実施の促進を図った。 ・主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善の促進を図った。 ・タブレット端末等のICTを活用した授業を推進した。 ② 研修機会(初任者研修、講師等研修会、算数・数学学力向上研修会、研究主任会、ICT推進リーダー研修会等)の提供と各校の情報共有を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・能代市山本郡の初任者、講師を対象に、初任者研修、講師等研修会を開催し、「秋田の探究型授業」のポイント等について指導助言した。 ・小・中学校の算数・数学担当者を対象に「算数・数学学力向上研修会」を開催し、算数・数学の学力向上やタブレット端末を活用した授業づくりについて、専門監の講義・演習後、情報交換をするとともに指導助言を行った。 3 評価を生かした授業改善 <ul style="list-style-type: none"> ・学校訪問(所長訪問随行、市教委訪問、要請訪問)において、授業改善について指導助言した。 ・市教委訪問では、能代市の授業づくりの重点を確認するとともに、学校の研究体制や道徳科における課題設定・話し合い活動の在り方について、具体的に指導助言した。

評価

B

A 目標を上回る

B ほぼ目標どおり

C 目標をやや下回る

D 目標を大幅に下回る

1 基本的な学習習慣の確立

県学習状況調査結果

・小学5年理科、中学2年理科で県平均を下回った。それ以外は全て県平均を上回った。

小学 4年	4年度		比較
	能代市	県平均	
国語	81.3%	79.6%	+1.7p
社会			
算数	74.1%	68.8%	+5.3p
理科	78.7%	77.8%	+0.9p

小学 5年	4年度		比較
	能代市	県平均	
国語	83.6%	79.7%	+3.9p
社会	67.9%	63.6%	+4.3p
算数	73.9%	68.4%	+5.5p
理科	79.2%	79.8%	-0.6p

小学 6年	4年度		比較
	能代市	県平均	
国語	88.5%	84.5%	+4.0p
社会	72.8%	68.1%	+4.7p
算数	72.3%	70.2%	+2.1p
理科	80.9%	77.9%	+3.0p

中学 1年	4年度		比較
	能代市	県平均	
国語	73.3%	72.3%	+1.0p
社会	66.9%	61.9%	+5.0p
数学	58.8%	55.0%	+3.8p
理科	72.1%	65.9%	+6.2p
英語	57.7%	54.9%	+2.8p

中学 2年	比較		比較
	能代市	県平均	
国語	75.8%	73.0%	+2.8p
社会	64.8%	50.7%	+14.1p
数学	61.5%	58.5%	+3.0p
理科	52.0%	53.3%	-1.3p
英語	56.6%	53.5%	+3.1p

2 学校がある日の勉強時間（1時間以上勉強している児童生徒の割合）

・小学6年～中学2年で県平均を上回る結果であった。

学 年	4年度		比較	3年度		比較
	能代市	県平均		能代市	県平均	
小学4年	32.8%	34.3%	-1.5p	41.0%	38.6%	+2.4p
小学5年	45.2%	46.6%	-1.4p	62.2%	49.9%	+12.3p
小学6年	67.4%	55.7%	+11.7p	67.4%	60.3%	+7.1p
中学1年	69.7%	66.1%	+3.6p	75.8%	69.5%	+6.3p
中学2年	61.1%	60.2%	+0.9p	65.6%	67.5%	-1.9p

3 子どもが主体的に取り組める学習指導

- ①「勉強が好きだ」の割合〈目標値：小学生 80%以上、中学生 60%以上〉
 ・目標値は中学1年以外で下回り、小学5年以上で県平均を上回った。

学 年	4年度 能代市	目標値と の比較	4年度 県平均	県との 比較
小学4年	73.5%	-6.5p	77.1%	-3.6p
小学5年	79.2%	-0.8p	70.4%	+8.8p
小学6年	74.0%	-6.0p	69.0%	+5.0p
中学1年	65.3%	+5.3p	56.0%	+9.3p
中学2年	54.3%	-5.7p	46.7%	+7.6p

- ②「ふだんの授業では、学校の友達との間で話し合う活動をよく行っていると思う」の割合 〈目標値：小・中学校とも 90%以上〉
 ・目標値、県平均ともに小学5年以上で上回った。

学 年	4年度 能代市	目標値と の比較	4年度 県平均	県との 比較
小学4年	87.3%	-2.7p	90.6%	-3.3p
小学5年	92.7%	+2.7p	90.3%	+2.4p
小学6年	92.4%	+2.4p	91.3%	+1.1p
中学1年	93.9%	+3.9p	92.6%	+1.3p
中学2年	94.3%	+4.3p	93.2%	+1.1p

4 評価を生かした授業改善

能代市教育委員会学校訪問から見た各校の授業改善の取組について、教育情報紙「ふいご」で取り上げた。主体的・対話的で深い学びにつながった授業や、能代市の授業づくりの重点を意識した授業に焦点を当て、教師の授業改善の一助となるような紙面作りを行った。

課 題 及 び
 今後の取組の
 方 向 性

拡充 継続 廃止検討 その他 ()

[具体的な課題及び取組]

- 1 基本的な学習習慣の確立については、小・中連携による継続的、系統的な学び方指導、家庭への啓発等を引き続き各学校に指導する。
- 2 新学習指導要領で示された「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、授業改善を目指し、各種研修会や広報等で広く周知する。

学 識 経 験 者
 の 意 見

○「勉強が好きだ」と回答した児童・生徒の割合が、おおむね県平均を超えていることから、目標値（小学生 80%以上、中学生 60%以上）には届かないものの、事業活動の成果は表れていると考えられます。また ICT を活用した授業の推進は、今後の学校教育の最重要課題の1つですので、今後とも積極的な実践をお願い致します。

□ふだんの授業で友達との間で話し合い活動がよく行われている学年がほとんどで、「主体的・対話的で深い学び」の授業が展開されているからだと考えます。

□県学習状況調査の小4理科、中2理科が県平均より下回っているので、今後の回復指導に努めてください。また、児童生徒の意欲を高める「分かる、できる、楽しい」授業を構築してください。

基本目標	2 豊かな人間性を育む学校教育の推進																
施策項目	④ 幅広い識見と実践的指導力を培う教職員の研修																
方針・目標	学校や教職員の課題に応じた研修機会の提供と充実により、教職員の識見を広げ、実践的指導力を向上させます。																
事業・取組名	1 学力向上のための研修 2 安全・安心な学校づくりのための研修 3 学びをより豊かにするための研修																
目標値	各研修会参加者の肯定的評価で、4段階評価の3.6以上を目指します。																
事務事業の実績	<p>① 職務別研修を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教務主任・研究主任協議会（4月） カリキュラム・マネジメントの調査研究の現状についての講話・協議、情報交換 ・特別支援教育担任等研修会（7月） 能代市教育委員会特別支援教育統括コーディネーターの講話「特別支援教育の扉～元気いっぱい 笑顔いっぱい～」、情報交換 ※淳城西小と池袋第三小によるオンラインでの交流を実施 <p>② 教職経験者研修を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初任者研修（5・8月） 1回目：教育懇談（教育長講話、課長・指導主事による講義等） 2回目：郷土研修（能代市の産業、自然、文化、施設） ・講師等研修（7月）→参加者なしのため中止 <p>③ テーマ別研修を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書活動推進研修会（5月） ・幼保小連携推進協議会（5月、11月、3月） ・算数・数学学力向上研修会（7月） 岡山県教育委員会指導主事（能代市派遣）の講話、情報交換 ・外国語研修会（8月） <p>*中止した研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京都豊島区との教育連携を生かした研修（6・11月） 																
点検・評価	評価	A	A 目標を上回る B ほぼ目標どおり C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る														
	<p>[説明]</p> <p>・実施した研修会で4段階の事後アンケートを実施したところ、参加者から内容が実践的で分かりやすかったなどの評価を得ている。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">研修/評価</th> <th style="width: 20%;">実践</th> <th style="width: 40%;">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>初任者研修</td> <td style="text-align: center;">4.0</td> <td style="text-align: center;">3.9</td> </tr> <tr> <td>算数・数学学力向上研修会</td> <td style="text-align: center;">3.9</td> <td style="text-align: center;">3.9</td> </tr> <tr> <td>読書活動推進研修会</td> <td style="text-align: center;">3.9</td> <td style="text-align: center;">3.9</td> </tr> <tr> <td>幼保小連携推進協議会</td> <td style="text-align: center;">3.9</td> <td style="text-align: center;">4.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>・各種研修会において、参加者同士が対話しながら主体的に参加できるよう、研修内容を工夫することができた。</p> <p>・新学習指導要領や能代市の教育方針及び学校の課題等について、各校の日常の取組に生かすことができるよう、専門的な分野に秀でたアドバイザー等を講師</p>			研修/評価	実践	内容	初任者研修	4.0	3.9	算数・数学学力向上研修会	3.9	3.9	読書活動推進研修会	3.9	3.9	幼保小連携推進協議会	3.9
研修/評価	実践	内容															
初任者研修	4.0	3.9															
算数・数学学力向上研修会	3.9	3.9															
読書活動推進研修会	3.9	3.9															
幼保小連携推進協議会	3.9	4.0															

<p>学 識 経 験 者 の 意 見</p>	<p>○ 3年度と同様、4年度も職務別研修・教職経験者研修・テーマ別研修といった各種の研修を積極的に実施している様子が伺えます。アンケート調査の結果を加味すると、「A」評価でよいと考えます。今後も実践的指導力の向上を図るなど、課題として挙げられている事項に取り組んでくださいますよう、お願い致します。</p> <p>□ 各研修会は、研修内容が充実しており、教員が主体的・対話的で深い学びができる研修会となっています。県の状況調査では、理科の数値が下回っている学年がありますので、回復の手立てを講じる研修会を設定すべきだと考えます。</p> <p>□ 東京都豊島区との教育連携を生かした研修は、4年度も中止となりましたが、非常に効果的な研修であることから5年度の実施を期待しています。</p>
----------------------------	---

基本目標	2 豊かな人間性を育む学校教育の推進																						
施策項目	⑤ 安全・安心な学校教育環境の整備																						
方針・目標	子どもたちの安全を守るための能力の育成や学校安全の徹底を推進します。																						
事業・取組名	学校安全の推進																						
目標値	1 学校生活における児童生徒の事故発生率が過去3年間平均を下回ることを目指します。 2 関係機関と連携し、通学路の安全点検を合同で実施し、専門家の視点から児童生徒の安全面を考慮した改善を進めます。																						
事務事業の実績	学校安全の推進 ① 教育活動における安全指導 <table border="1" data-bbox="416 640 1398 770"> <thead> <tr> <th></th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>過去3年間平均</th> <th>4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>登下校時の事故</td> <td>12件</td> <td>6件</td> <td>8件</td> <td>8.7件</td> <td>10件</td> </tr> <tr> <td>校内における事故</td> <td>7件</td> <td>24件</td> <td>23件</td> <td>18件</td> <td>22件</td> </tr> </tbody> </table> <p>※2年度に事故の報告基準を見直し明確化したことにより、報告件数が増加した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校訪問等で学校安全に関する指導助言を行った。 ・市生徒指導協議会で各校の生徒指導主事に事故発生状況を伝えるとともに、安全に関する指導助言を行った。 ② 各学校の実態に応じた安全点検等の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関と連携して通学路点検と協議を行い、通学路の改善を図った。 ・交通安全協会に協力していただき、2校で中学1年を対象とした交通安全教室を開催した。 ③ 学校給食における食の安全の取組 <ul style="list-style-type: none"> ・食育デー（毎月19日）に地場産物を多く使用した献立を提供した。 ・アレルギーの児童生徒を把握し、代替給食を提供した。（43人） ・危険な異物等が給食に入り込まないように、衛生管理面の徹底に努めた。 						元年度	2年度	3年度	過去3年間平均	4年度	登下校時の事故	12件	6件	8件	8.7件	10件	校内における事故	7件	24件	23件	18件	22件
	元年度	2年度	3年度	過去3年間平均	4年度																		
登下校時の事故	12件	6件	8件	8.7件	10件																		
校内における事故	7件	24件	23件	18件	22件																		
点検・評価	評価	B	A 目標を上回る	B ほぼ目標どおり	C 目標をやや下回る																		
	[説明] 学校安全の推進 ① 教育活動における安全指導 登下校時の事故は10件、校内における事故は22件であった。目標値を上回る結果ではあったが過去3年間の平均に近い値となっている。軽微な事故であっても、事故発生後の各校からの速やかな報告が徹底されてきている。																						
	② 各学校の実態に応じた安全点検等の実施 関係機関と連携し、通学路の安全点検を合同で実施し、専門家の視点から児童の安全面を考慮した改善を進めることができた。毎年、点検・改善が進められていることから、登下校における危険箇所が減少し、児童生徒の不注意以外が原因となる事故は減少している。 <ul style="list-style-type: none"> ・各校からの点検・改善要望 13カ所 対策済み：11カ所 対策予定：1カ所 対策検討：1カ所 ③ 学校給食における食の安全の取組 <ul style="list-style-type: none"> ・学校給食における危険な異物等の混入 0件 ・食物アレルギーによるアナフィラキシーの発生件数 0件 																						

基本目標	2 豊かな人間性を育む学校教育の推進		
施策項目	⑤ 安全・安心な学校教育環境の整備		
方針・目標	経済的理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者等に対する支援を一層充実させ、子どもたちが安全・安心に過ごせる良好な教育環境をつくります。		
事業・取組名	就学援助、奨学金貸付事業及び奨学金返還助成事業の周知徹底と利用促進		
目標値	就学援助、奨学金貸付事業及び奨学金返還助成事業の周知徹底を図るとともに、利用促進に努めます。		
事務事業の実績	<p>1 就学援助（5年3月末現在） 要保護40人、準要保護638人、認定割合は24.9%（3年度26.6%） 県内でも高い水準となっている。</p> <p>2 能代市奨学金貸付事業 4年度採用内定者数20人（高校0人、大学等20人） （3年度20人）※うち3人が内定辞退、貸与者数は17人となった。</p> <p>3 ふるさと人材育成・定住促進奨学金貸付事業 4年度採用内定者数30人（能代22人、三種5人、八峰2人、藤里1人） （3年度30人）※うち1人が内定辞退、貸与者数は29人となった。</p> <p>4 奨学金返還助成事業 助成者数：4年度48人（3年度25人）</p>		
点検・評価	評価	B	<p>A 目標を上回る B ほぼ目標どおり</p> <p>C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る</p>
	<p>[説明]</p> <p>ほとんどの事業において広報のしろや市ホームページで周知しているほか、個々に、独自の方法で周知徹底を図っており、見込み程度の利用人数となっている。</p> <p>1 就学援助 ・庁内の関係窓口に案内文書や申請書を備え付けているほか、新入学児童生徒には保護者へ案内文書の直接送付、在校児童生徒には学校を通して制度案内と申請書を配布している。結果、認定割合は25%前後と県内でも高い水準となっている。</p> <p>2 能代市奨学金貸付事業 ・奨学生募集の際は、市内中・高等学校、県内専門学校・大学、庁内関係課のほか、郡内3町に周知している。8月から募集を開始し、定員に満たない分について随時追加募集を行ったことから、AO入学等様々な時期に対応でき、採用内定者が定員を満たした。</p> <p>3 ふるさと人材育成・定住促進奨学金貸付事業 ・定員に満たなかった分については、2 能代市奨学金貸付事業と同様の対応をした。複数回募集を行い、応募の機会を増やしたことで、採用内定者が定員を満たした。</p> <p>4 奨学金返還助成事業 ・県の返還助成を終了した方に対し、制度概要のチラシを送付するなど、関係機関と連携し周知を図っていることから、助成対象者が増加している。</p>		

<p>課題及び 今後の取組の 方向性</p>	<p><input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>継続 <input type="checkbox"/>廃止検討 <input type="checkbox"/>その他（ ）</p> <p>[具体的な課題及び取組]</p> <p>一定程度の利用申し込みがある状況であり、さらなる周知方法の拡大等について検討しながら今後も継続して周知徹底に努める。奨学金貸付事業については、申請要件の見直しを行うなど、より、公平でわかりやすいしくみを検討しながら、引き続き利用促進に向けて取り組む。</p>
<p>学識経験者 の意見</p>	<p>○きちんと広報活動がなされており、そのために目標はおおむね達成されているように見受けられます。今後も周知方法の拡大や申請要件の見直し等を実施することにより、利用促進に取り組んでいただければと思います。</p> <p>□4年度の能代市奨学金、ふるさと人材育成・定住促進奨学金の定員を満たすことができたことは、目標達成ととらえます。今後も周知方法を工夫し、高校・大学入学者が夢をもって進学できるような奨学金の在り方を探ってください。</p>

基本目標	2 豊かな人間性を育む学校教育の推進		
施策項目	⑤ 安全・安心な学校教育環境の整備		
方針・目標	学校施設・設備の計画的な整備に取り組みます。		
事業・取組名	1 学校施設の老朽化対策等の推進 2 学校施設的环境改善の推進		
目標値	1 老朽化対策については、能代市公共施設等総合管理計画及び教育施設等長寿命化計画に基づき順次実施します。また、安全・安心に重大な影響が見込まれるものについては、早期対応を図ります。 2 環境改善については、予定しているエアコン設置を順次実施します。		
事務事業の実績	1 学校施設の老朽化対策等の推進 ① 長寿命化計画に基づく事業実施 ・ 3年度から引き続き、淳城南小学校のプール等改修工事を行った。 ・ 淳城西小学校、及び二ツ井中学校の大規模改修Ⅰ期工事（屋上防水、外壁、教室・廊下の床改修等）を行った。 ・ 国交付金の追加配分に機を逃さず要望し、淳城西小学校及び二ツ井中学校大規模改修Ⅱ期工事、及び第五小学校大規模改修Ⅰ期工事の採択を得て3月定例会で予算措置した。※5年度工事 ② 常時の調査・点検等 法定・任意点検、職員による随時巡回等により状況を把握し、優先度を考慮し対応した。 2 学校施設的环境改善の推進 ① エアコンの設置 小学校5校（淳城西小、淳城南小、第四小、向能代小、二ツ井小）、中学校4校（能代一中、能代二中、能代東中、能代南中）の図書室へのエアコン設置工事を行った。 ※浅内小学校の図書室空調設備改修工事、及び第五小学校、東雲中学校の空調設備改修工事、二ツ井中学校図書室へのエアコン設置工事は3年度に実施済み。		
点検・評価	評価	A	A 目標を上回る B ほぼ目標どおり C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る
	[説明] 1 学校施設の老朽化対策等の推進 ○淳城南小学校プール等改修等工事の実施) ○淳城西小学校大規模改修工事Ⅰ期の実施 ○二ツ井中学校大規模改修工事Ⅰ期の実施 ◎淳城西小学校、二ツ井中学校大規模改修Ⅱ期工事、及び第五小学校大規模改修Ⅰ期工事の前倒し予算措置 ○各種法定点検、調査結果等により必要となった整備の実施 2 学校施設的环境改善の推進 ○小学校5校、中学校4校の図書室エアコン設置工事の実施		

<p>課題及び 今後の取組の 方向性</p>	<p><input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>継続 <input type="checkbox"/>廃止検討 <input type="checkbox"/>その他（ ）</p> <p>[具体的な課題及び取組]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大規模改修等に充てる財源の確保 <p>能代市教育施設等長寿命化計画に基づき整備計画を国へ示し、引き続き交付金の獲得と有利な起債の活用に努める。また、交付金の追加配分等の機会があれば、時期を逃さず積極的に要望していく。</p>
<p>学識経験者 の意見</p>	<p><input type="checkbox"/>学校施設の老朽化対策・環境改善の推進が、積極的に進められていることが伺えます。引き続き着実な取り組みをお願いします。</p> <p><input type="checkbox"/>学校施設の老朽化対策、学校施設の環境改善は、計画に基づいて進められており、学校環境が整備されています。この後も計画に従って事業をテンポよく実施してください。</p> <p><input type="checkbox"/>児童生徒の安全に影響が見られる破損箇所がある場合は、優先順位を変更して対応してください。</p>

基本目標	3 より心豊かで生き生きとした暮らしにつながる学びの場づくりの推進		
施策項目	① 学習の成果を地域に生かす取り組みの推進		
方針・目標	市民の学習意欲を高められるよう学習環境の整備とともに、学びの成果を地域に生かすことができるよう生涯学習諸施策の充実を図ります。		
事業・取組名	生涯学習推進事業		
目標値	出前講座の利用件数を過去3年間の平均を目指します。		
事務事業の実績	<p>1 出前講座の利用件数及び受講者数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用件数 192 件 ・受講者数 2,954 人 <p>2 その他</p> <p>(1) 生涯学習推進体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習推進本部（本部長－市長、本部員－部長等） ・生涯学習推進協議会（12 人） ・生涯学習奨励員（26 人） ・社会教育指導員（1 人） <p>(2) 情報提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習関連事業の作成（生涯学習推進協議会委員等へ配布） ・広報のしろへの「生涯学習のしろ」掲載（年2回） ・ホームページによる情報提供（随時） ・地元新聞による情報提供 <p>(3) 人材の活用・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習奨励員の活動促進 <ul style="list-style-type: none"> ア 奨励員同士の交流及び資質向上のための学習機会を提供 <ul style="list-style-type: none"> ・能代市山本郡生涯学習奨励員地区連絡協議会研究大会 ・能代市生涯学習奨励員協議会移動研修 イ マナブウ市での交流（工作、手芸等） ウ 生涯学習のつどい（工作、料理等）※奨励員自主企画事業 		
点検・評価	評価	A	A 目標を上回る B ほぼ目標どおり C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る
	<p>1 出前講座の利用件数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用件数 192 件 過去3年間の平均 90 件（R3：76 件、R2：73 件、R1：122 件） <p>2 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民意識調査「学んだ知識や特技を地区活動や行事で発揮することを心にかけている市民の割合」 R4：11.0%（R3：11.0%、R2：14.8%、R1：15.1%） ・第3次能代市社会教育振興中期計画に基づく実施事業数 R4：112 項目（R3：89 項目） ・生涯学習ボランティア登録者数 R4：44 人（R3：44 人） 		

<p>課題及び今後の取組の方向性</p>	<p><input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>継続 <input type="checkbox"/>廃止検討 <input type="checkbox"/>その他（ ）</p> <p>[具体的な課題及び取組]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民意識調査や講座終了後のアンケート結果を参考とし、市民の学習ニーズや地域課題を把握しながら、それに対応した学習機会の提供に努める。 ・広報、ホームページ、新聞等の活用により、講座情報の周知拡大を図り、学べる環境づくりに努める。 ・学んだ知識や特技を地区活動等で発揮することができるよう、研修会等で意識づけを図る。 ・発表、交流の場の提供に努め、学習を通じた生きがいを支援する。 ・地域資源（人・自然・行事等）を生かした体験活動の充実を図る。 ・世代を超えて多様な価値観や考え方に共感できるよう世代間交流を促進する。 ・学校、家庭、地域を繋げるコーディネーターの育成を図り、人と地域を繋ぐ仕組みづくりをすすめる。
<p>学識経験者の意見</p>	<p>○出前講座の利用件数が4年度は大幅に増加しており、アフタコロナを見据えた活動が出来ていることが伺えます。今後も積極的に、事業推進に取り組んでいただければと思います。</p> <p>□4年度の出前講座の利用件数が192件となり、過去3年間の平均90件を大きく上回ったことは評価が高いといえます。今後も生涯学習推進体制を強化し、情報提供を充実させて生涯学習を推し進めてほしいと思います。</p>

基本目標	3 より心豊かで生き生きとした暮らしにつながる学びの場づくりの推進			
施策項目	② 市民ニーズや地域課題に対応した多様な学習機会の提供と充実			
方針・目標	現代的課題やニーズに応じた講座等を開催するとともに、参加しやすい環境を整えます。			
事業・取組名	公民館活動事業 勤労青少年ホーム活動事業 働く婦人の家活動事業			
目標値	講座数及び参加者数について前年度以上を目指します。			
事務事業の実績	1 中央公民館・地区公民館等開設講座・事業数			
	年度	講座数	回数 (日数)	参加者数 対人口比 (各年3.31現在)
	4年度	140講座	181回	7,083人 14.5%
	3年度	104講座	136回	5,073人 10.1%
	2年度	101講座	129回	2,693人 5.3%
	元年度	177講座	230回	12,954人 25.0%
	※以下の講座内訳の分類区分等を4年度から変更。これに伴い、過去3ヶ年の実績についても同様の分類方法で修正を行ったため、過去の資料との連動性がない。			
	2 中央公民館・地区公民館等開催講座内訳(数値は延べ数)			
分野	おもな事業内容	対象	回数 または日数	参加者数
家庭教育 (幼児教育)	親子体験活動	年中・年長児・ 小学生と保護者	14回	418人
青少年教育	体験活動	地区小学生	21回	309人
	ボランティア育成	中・高校生	9回	68人
	障がい者の生涯学習支援	支援学校生ほか	11回	97人
成人教育	集合学習(市民学校)	一般成人	55回	511人
	集合学習(その他講座等)	一般成人	14回	150人
	働く婦人の家講座	一般成人	10回	83人
	勤労青少年ホーム講座	一般成人	2回	11人
高齢者教育	集合学習(寿大学)	高齢者	23回	1,297人
文化活動	公民館祭・文化祭	市民等	16日間	4,082人
コミュニティ活動	地域づくり講演会	一般成人	2回	25人
創作活動	創作作品活動(創作か れたコンテスト作品応募・展 示)	市民等	4日間 ※展示期間	32人 ※作品数
合 計			181回	7,083人
※上記の講座内訳の分類区分等を4年度から変更				
3 講座周知方法				
○中央公民館ほか(指定管理) …広報・新聞・フリー情報誌・ホームページ・ フェイスブック・Twitter				
○二ツ井公民館(指定管理) …広報・新聞・フリー情報誌・ホームページ				
○地区公民館 …(地域住民)チラシ(地域以外)広報				

点検・評価	評価	A	A 目標を上回る B ほぼ目標どおり C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る
	<p>[説明]</p> <p>① 公民館の講座等については、3年度は136回・5,073人に対し、4年度は181回・7,083人で、回数、参加者ともに増加となった。</p> <p>コロナ禍前の状態までは回復していないが、ウィズコロナのもと、感染対策をとりながら、講座を企画・開催している。また、2年度から中止としていた公民館祭等が規模を縮小するなどして開催され、感染状況に沿った工夫がみられる。</p> <p>② 中央公民館では、30年度から国委託「障害者の生涯学習支援モデル事業」を受託し、学校卒業後の障がい者が社会で自立して生きるために必要となる力を伸ばす目的で各種講座を開催した。</p> <p>③ ニツ井公民館では、地元出身者を講師に招き、小学生を対象にドリーム教室を開催し、小学生に夢を与える事業を展開している。</p>		
課題及び今後の取組の方向性	<p><input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> その他 ()</p> <p>[具体的な課題及び取組]</p> <p>1 市民のニーズにあった講座等の開設</p> <p>① アンケート等による市民ニーズの把握に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央公民館では「障害者の生涯学習支援モデル事業」を継続し、より効果的な学習プログラムを模索していく。「ボランティア育成講座」では、対象を中学生までとし、広く参加者を募る。 ・参加者アンケートでは、満足度を数値化できるような設問を設定し、更なるニーズの把握に努める。 <p>② 講座へ参加しやすい時間帯の設定や、他行事と重ならないような日程調整を引き続き行っていく。</p> <p>2 多様な手法による情報提供</p> <p>指定管理施設では広報やホームページ、SNSを活用した情報提供のほか、フリー情報誌などにも広告を掲載し幅広い情報提供を試みている。</p> <p>3 指定管理者等との連携</p> <p>① 引き続き指定管理者との月例打ち合わせを行い、情報交換を密にする。</p> <p>② 中央公民館・地区館の事業担当者間の情報交換の場として公民館長会議を年2回実施する。</p>		
学識経験者の意見	<p>○ 4年度は中央公民館・地区公民館などの開設講座数が、3年度に比べて大幅に増加するなど、積極的な活動がおこなわれている様子が伺えます。今後も市民のニーズにあった講座等の開設など、事業の推進に尽力して頂きますよう、お願いします。</p> <p>□ 公民館の講座については、3年度は講座数136回、参加者数5073人に対し、4年度は講座数181回、参加者数7083人と大幅に増加しています。コロナ感染対策を十分行いながら内容を十分吟味して事業を進めた成果と考えます。</p>		

【 生涯学習・スポーツ振興課 】

基本目標	3 より心豊かで生き生きとした暮らしにつながる学びの場づくりの推進																																																				
施策項目	③ 学習を通じた生きがいがづくり、仲間づくりの支援																																																				
方針・目標	自主的な学習活動を支援し、学習成果の発表の場及び交流の場の確保、提供に努めます。																																																				
事業・取組名	公民館活動事業 勤労青少年ホーム活動事業 働く婦人の家活動事業																																																				
目標値	1 自主学习グループ等登録団体数について、前年度以上を目指します。 2 寿大学の参加者数について、前年度以上を目指します。																																																				
事務事業の実績	<p>1 グループ等登録状況</p> <p>① 自主学习グループ等登録団体数</p> <p>※自主学习グループ+働く婦人の家利用グループ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">自主学习グループ等合計</th> <th rowspan="2">対人口比 (各年3.31現在)</th> </tr> <tr> <th>団体数</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4年度</td> <td>259団体</td> <td>3,322人</td> <td>6.8%</td> </tr> <tr> <td>3年度</td> <td>268団体</td> <td>3,357人</td> <td>6.7%</td> </tr> <tr> <td>2年度</td> <td>270団体</td> <td>3,518人</td> <td>6.9%</td> </tr> <tr> <td>元年度</td> <td>288団体</td> <td>3,800人</td> <td>7.3%</td> </tr> </tbody> </table> <p>② 勤労青少年ホーム利用者連絡協議会登録者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>利用グループ数</th> <th>登録人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4年度</td> <td>4団体</td> <td>14人</td> </tr> <tr> <td>3年度</td> <td>4団体</td> <td>14人</td> </tr> <tr> <td>2年度</td> <td>11団体</td> <td>42人</td> </tr> <tr> <td>元年度</td> <td>11団体</td> <td>45人</td> </tr> </tbody> </table> <p>③ 寿大学参加者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>回数</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4年度</td> <td>23回</td> <td>1,297人</td> </tr> <tr> <td>3年度</td> <td>15回</td> <td>872人</td> </tr> <tr> <td>2年度</td> <td>21回</td> <td>575人</td> </tr> <tr> <td>元年度</td> <td>53回</td> <td>2,384人</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 グループ増加への取組</p> <p>① 学習成果発表の場</p> <ul style="list-style-type: none"> ○能代市公民館祭 <ul style="list-style-type: none"> ・作品展示 10/7～10/10 ・公開講座 10/8 ・芸能発表会 10/9 ○二ツ井地区文化祭 <ul style="list-style-type: none"> ・作品展示 10/21～10/23 ・ダンスパーティー (中止) ・歴史講演会 10/23 ・舞台発表 10/8 ○地区公民館祭 <ul style="list-style-type: none"> ・檜山 10/16 ・南部 10/22～23 (展示のみ) ・向能代 10/22～23 ・東部 10/23 (展示のみ) 		自主学习グループ等合計		対人口比 (各年3.31現在)	団体数	人数	4年度	259団体	3,322人	6.8%	3年度	268団体	3,357人	6.7%	2年度	270団体	3,518人	6.9%	元年度	288団体	3,800人	7.3%		利用グループ数	登録人数	4年度	4団体	14人	3年度	4団体	14人	2年度	11団体	42人	元年度	11団体	45人		回数	参加者数	4年度	23回	1,297人	3年度	15回	872人	2年度	21回	575人	元年度	53回	2,384人
	自主学习グループ等合計		対人口比 (各年3.31現在)																																																		
	団体数	人数																																																			
4年度	259団体	3,322人	6.8%																																																		
3年度	268団体	3,357人	6.7%																																																		
2年度	270団体	3,518人	6.9%																																																		
元年度	288団体	3,800人	7.3%																																																		
	利用グループ数	登録人数																																																			
4年度	4団体	14人																																																			
3年度	4団体	14人																																																			
2年度	11団体	42人																																																			
元年度	11団体	45人																																																			
	回数	参加者数																																																			
4年度	23回	1,297人																																																			
3年度	15回	872人																																																			
2年度	21回	575人																																																			
元年度	53回	2,384人																																																			

	<p>・常盤10/30 ・鶴形11/6</p> <p>○働く婦人の家まつり ・作品展示 10/7～10/10</p> <p>○中央寿大学クラブ発表会 2/16</p> <p>② グループ結成支援</p> <p>・中央公民館／市民学校 新規1グループ（俳句）</p>		
点検・評価	評価	B	<p>A 目標を上回る B ほぼ目標どおり</p> <p>C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る</p>
	<p>[説明]</p> <p>① 自主学習グループ等の登録団体については、新型コロナの影響による活動中止・自粛や、団体の解散などにより引き続き減少傾向にあるものの、登録人数の対人口比においては横ばいである。</p> <p>② 中央公民館の市民学校が、新たな自主学習グループの結成につながった。また、既存のグループから新たなグループの派生が見られるなど、コロナ禍であっても、活動の広がりがうかがえる。【俳句を題材とした市民学校をきっかけに、自主学習グループの”能代響き句会”が結成】</p> <p>③ 4年度は、各地区公民館祭が3年ぶりの開催となった。感染対策を取りながら、日程短縮や舞台発表の中止などの対策を取りつつ、自主学習グループにとっての学習成果発表の場を確保することができた。</p> <p>④ 寿大学については、3年度の15回・872人に対し、4年度は23回・1,297人で回数・参加者数ともに大幅に増加している。コロナ禍前の状態までは回復していないが、各自が感染症対策を十分に取ったうえで、徐々に活動を再開しており、高齢者の生涯学習に対する意欲の高さの表れと考えることができる。</p> <p>※ 自主学習グループ等登録団体数は前年度比で若干減少したものの、登録人数の対人口比においては横ばいであるほか、寿大学の講座回数・参加者数が大きく増加に転じていることから、ほぼ目標どおりとした。</p>		
課題及び今後の取組の方向性	<p><input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> その他（ ）</p> <p>[具体的な課題及び取組]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単発講座ではなく、市民学校のような複数回の学習や、テーマに沿った課題学習がグループ結成につながりやすいため、今後とも指定管理者と連携しながら、学びの継続を促していく。 ・各種講座終了後の発表の場として公民館祭等をとらえ、学習者の意欲を高揚し、学びの継続を促していく。4年度の地区文化祭は、感染症対策として日程短縮と発表部門を中止としたが、5年度以降については、感染対策等を実施しつつ新しい生活様式のなかで、各グループが活動の成果を発表する場を持てるよう、支援していく。 ・自主学習グループ等会員の高齢化や人口減少に伴う団体数減や活動人数の減少が課題の1つである。新たな登録グループや活動参加者の増加につながるよう、各公民館・指定管理者と連携していく。 		
学識経験者の意見	<p>○新型コロナウイルスの影響が残るものの、おおむね順調に事業の推進がおこなわれていることが伺えます。各地区公民館祭の3年ぶりの開催など、アフタコロナを見据えた取り組みを、今後はよろしく願います。</p> <p>□高齢者が積極的に参加している寿大学は、高齢者の生涯学習として最も効果的な事業となっています。3年度の回数15回、参加者数872人に対し、4年度は回数23回、参加者数1297人と大幅に増加しています。高齢者に取って生きる力を高める事業となっています。</p>		

基本目標	3 より心豊かで生き生きとした暮らしにつながる学びの場づくりの推進																						
施策項目	④ 社会教育施設等の適切な運営による、より良い学習環境の充実																						
方針・目標	学習者が情報を共有でき、利用しやすい環境を整えます。																						
事業・取組名	公民館管理運営事業 施設管理事業（勤労青少年ホーム・働く婦人の家） 文化会館管理運営事業																						
目標値	施設・設備の状況及び利用者の要望を把握し、計画的に修繕や改修を実施していきます。																						
事務事業の実績	<p>1 施設管理計画の策定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・能代市教育施設長寿命化計画 令和2年3月 策定 <p>2 指定管理者との情報交換</p> <ul style="list-style-type: none"> 定例打合せ 能代市芸術文化協会 月1回 スポカルきみまち 月1回 <p>3 自主学习グループアンケート等の改善要望（主なもの）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中央公民館</td> <td>エレベーター設置、机、椅子・スクリーンの更新</td> </tr> <tr> <td>東部公民館</td> <td>洋式トイレ、コピー機、机・椅子の更新、卓球台</td> </tr> <tr> <td>南部公民館</td> <td>洋式トイレ、冷房、カーテン・網戸の取替</td> </tr> <tr> <td>向能代公民館</td> <td>洋式トイレ、冷暖房、照明の設置（駐車場）</td> </tr> <tr> <td>常盤公民館</td> <td>特になし</td> </tr> <tr> <td>二ツ井公民館</td> <td>冷房、音響照明設備、網戸の取替、畳の張替</td> </tr> <tr> <td>二ツ井分館</td> <td>冷房、洋式トイレ化</td> </tr> <tr> <td>勤労青少年ホーム</td> <td>洋式トイレ、冷房、机・椅子の軽量化</td> </tr> <tr> <td>働く婦人の家</td> <td>洋式トイレ化、スロープの設置、机・椅子の更新</td> </tr> <tr> <td>文化会館</td> <td>エレベーター設置、ピアノ</td> </tr> </tbody> </table> <p>※檜山公民館、鶴形公民館は地域拠点施設であり市民活力推進課が所管</p> <p>4 施設・設備改修（主なもの）</p> <p>ア 中央公民館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2階創作室 ブラスタートラップ本体取替修繕 359千円 <p>イ 文化会館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ AC-1 冷温水制御用モーター取替修繕 311千円 ・ 大ホール排煙窓取替修繕 1,870千円 ・ 文化会館屋根軒先改修工事 2,453千円 <p>ウ 勤労青少年ホーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図書室 LED非常用照明器具取替修繕 72千円 <p>エ 勤労青少年ホーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地下タンク改修工事 4,224千円 <p>オ 地区公民館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ エアコン設置工事【二ツ井公民館】 2,145千円 ・ 主遮断装置（高圧交流負荷開閉器）修繕【二ツ井公民館】 490千円 ・ 非常用発電機蓄電池（取替）修繕【二ツ井公民館】 425千円 	施設名	内容	中央公民館	エレベーター設置、机、椅子・スクリーンの更新	東部公民館	洋式トイレ、コピー機、机・椅子の更新、卓球台	南部公民館	洋式トイレ、冷房、カーテン・網戸の取替	向能代公民館	洋式トイレ、冷暖房、照明の設置（駐車場）	常盤公民館	特になし	二ツ井公民館	冷房、音響照明設備、網戸の取替、畳の張替	二ツ井分館	冷房、洋式トイレ化	勤労青少年ホーム	洋式トイレ、冷房、机・椅子の軽量化	働く婦人の家	洋式トイレ化、スロープの設置、机・椅子の更新	文化会館	エレベーター設置、ピアノ
施設名	内容																						
中央公民館	エレベーター設置、机、椅子・スクリーンの更新																						
東部公民館	洋式トイレ、コピー機、机・椅子の更新、卓球台																						
南部公民館	洋式トイレ、冷房、カーテン・網戸の取替																						
向能代公民館	洋式トイレ、冷暖房、照明の設置（駐車場）																						
常盤公民館	特になし																						
二ツ井公民館	冷房、音響照明設備、網戸の取替、畳の張替																						
二ツ井分館	冷房、洋式トイレ化																						
勤労青少年ホーム	洋式トイレ、冷房、机・椅子の軽量化																						
働く婦人の家	洋式トイレ化、スロープの設置、机・椅子の更新																						
文化会館	エレベーター設置、ピアノ																						

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 洋式トイレ設置修繕1基【南部公民館】 222千円 ・ 灯油ホームタンク修繕【常盤公民館】 181千円 ・ 玄関ポーチ天井修繕【東部公民館】 49千円 ・ ガステーブル取替修繕、湯沸器水漏れ修繕【荷上場分館】 36千円 								
点検・評価	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">評価</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">B</td> <td style="width: 20%;">A 目標を上回る</td> <td style="width: 20%;">B ほぼ目標どおり</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>C 目標をやや下回る</td> <td>D 目標を大幅に下回る</td> </tr> </table>	評価	B	A 目標を上回る	B ほぼ目標どおり			C 目標をやや下回る	D 目標を大幅に下回る
	評価	B	A 目標を上回る	B ほぼ目標どおり					
		C 目標をやや下回る	D 目標を大幅に下回る						
	<p>〔説明〕</p> <p>① 指定管理者との月例打ち合わせで、生涯学習の推進と利用者の利便性向上に向けた協議を行った。</p> <p>② 施設や設備の老朽化に伴い改修箇所が増加傾向であるが、優先順位をつけて計画的に対応した。</p>								
課題及び今後の取組の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> その他 ()								
	<p>〔具体的な課題及び取組〕</p> <p>① 指定管理者等との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続き指定管理者との月例打ち合わせを行うほか、メール等も活用して随時情報交換を行う。 ・ 中央公民館、地区公民館の情報交換の場として、引き続き公民館長会議を実施する。 <p>② 施設・設備の修繕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続き指定管理者と連携しながら施設・設備の状態を把握し、計画を立てて修繕や改修を実施するよう努める。 ・ 各地区公民館の施設・設備の状態を把握し、利用状況や利用者から寄せられたアンケート結果等を見ながら、計画的な修繕や改修を実施していく。 								
学識経験者の意見	<p><input type="checkbox"/> 計画的に修繕や改修が実施されている様子が、見て取れます。引き続き指定管理者と連携しながら、今後も活動を継続してください。</p> <p><input type="checkbox"/> 各施設と連携を図り、施設・設備の状況を十分把握しながら、計画的に修繕・改善を進めてください。</p>								

基本目標	3 より心豊かで生き生きとした暮らしにつながる学びの場づくりの推進																																																													
施策項目	④ 社会教育施設等の適切な運営による、より良い学習環境の充実																																																													
方針・目標	市民の学習要求に応えるため、必要な資料を広く収集・整理・提供するとともに、生涯学習や生活に役立ち、利用しやすい情報の拠点となるよう努めます。 また、読書活動を推進するため、学校や家庭との連携を強化するとともに、各種事業を展開し、利用者拡大に努めます。																																																													
事業・取組名	図書館管理運営事業																																																													
目標値	図書館利用者満足度調査の全体的な満足度で、平均4点以上を目指します。																																																													
事務事業の実績	<p>1 サービス活動の充実と利用の拡大 ※統計は全て能代図書館と二ツ井図書館の合計</p> <p>(1) 図書館利用者満足度調査結果 (全体的な満足度平均)</p> <p>5段階評価…「満足」5点、「やや満足」4点、「普通」3点、「やや不満」2点、「不満」1点</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>能代図書館</th> <th>二ツ井図書館</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4年度</td> <td>4.27</td> <td>4.43</td> </tr> <tr> <td>3年度</td> <td>4.27</td> <td>4.51</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 来館者数、貸出冊数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度/項目</th> <th rowspan="2">来館者数</th> <th colspan="3">貸出冊数</th> </tr> <tr> <th>個人貸出</th> <th>団体貸出</th> <th>合計冊数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4年度</td> <td>96,350人</td> <td>140,345冊</td> <td>10,950冊</td> <td>151,295冊</td> </tr> <tr> <td>3年度</td> <td>100,007人</td> <td>148,444冊</td> <td>12,130冊</td> <td>160,574冊</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) その他サービス</p> <p>ア レファレンス・サービス (参考調査)、読書案内 イ リクエスト (予約) サービス ウ 障がい者サービス (家庭配本) エ 県立図書館等公共図書館との相互協力 オ ホームページの整備と管理</p> <p>(4) 市や社会教育施設等との連携</p> <p>ア 「子育て・家庭教育に関する本」のセット貸出 保育所向け・小学校向け・中学校向け (生涯学習・スポーツ振興課) イ 男女共同参画関連図書の展示、貸出 (6月、11月/市民活力推進課) ウ 育児関係本や絵本の配本 (毎月3歳児検診/子育て支援課) エ 読み聞かせおすすめ絵本の紹介の配布 (年3回/健康づくり課) オ 木に関する加工品の展示 (通年/木材高度加工研究所) カ 図書館間での資料搬送 (週2回 ※予約資料は週3回)</p> <p>(5) 学習機会の提供※¹</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度/項目</th> <th colspan="2">講座等の開催</th> <th colspan="2">選書体験等の開催</th> </tr> <tr> <th>回数</th> <th>人数</th> <th>回数</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4年度</td> <td>8回</td> <td>169人</td> <td>6回</td> <td>53人</td> </tr> <tr> <td>3年度</td> <td>1回</td> <td>10人</td> <td>6回</td> <td>86人</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 図書館資料の充実</p> <p>蔵書冊数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度/項目</th> <th>一般書</th> <th>郷土</th> <th>児童書</th> <th>合計冊数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4年度</td> <td>137,909冊</td> <td>19,440冊</td> <td>43,013冊</td> <td>200,362冊</td> </tr> <tr> <td>3年度</td> <td>136,329冊</td> <td>19,092冊</td> <td>43,075冊</td> <td>198,496冊</td> </tr> </tbody> </table>	年度	能代図書館	二ツ井図書館	4年度	4.27	4.43	3年度	4.27	4.51	年度/項目	来館者数	貸出冊数			個人貸出	団体貸出	合計冊数	4年度	96,350人	140,345冊	10,950冊	151,295冊	3年度	100,007人	148,444冊	12,130冊	160,574冊	年度/項目	講座等の開催		選書体験等の開催		回数	人数	回数	人数	4年度	8回	169人	6回	53人	3年度	1回	10人	6回	86人	年度/項目	一般書	郷土	児童書	合計冊数	4年度	137,909冊	19,440冊	43,013冊	200,362冊	3年度	136,329冊	19,092冊	43,075冊	198,496冊
年度	能代図書館	二ツ井図書館																																																												
4年度	4.27	4.43																																																												
3年度	4.27	4.51																																																												
年度/項目	来館者数	貸出冊数																																																												
		個人貸出	団体貸出	合計冊数																																																										
4年度	96,350人	140,345冊	10,950冊	151,295冊																																																										
3年度	100,007人	148,444冊	12,130冊	160,574冊																																																										
年度/項目	講座等の開催		選書体験等の開催																																																											
	回数	人数	回数	人数																																																										
4年度	8回	169人	6回	53人																																																										
3年度	1回	10人	6回	86人																																																										
年度/項目	一般書	郷土	児童書	合計冊数																																																										
4年度	137,909冊	19,440冊	43,013冊	200,362冊																																																										
3年度	136,329冊	19,092冊	43,075冊	198,496冊																																																										

基本目標	4 ふるさとの伝統文化の継承と文化芸術の振興		
施策項目	① 伝統芸能の継承		
方針・目標	学校や地域と連携した伝統芸能の継承活動を推進します。		
事業・取組名	民俗芸能振興事業		
目標値	能代市民俗芸能連合会の構成団体数を維持します。(18 団体)		
事務事業の実績	<p>1 能代市民俗芸能連合会構成団体数 (単位保存会数)</p> <p>2 年度 18 団体 (能代地区 7 二ツ井地区 11)</p> <p>3 年度 18 団体 (能代地区 7 二ツ井地区 11)</p> <p>4 年度 18 団体 (能代地区 7 二ツ井地区 11)</p> <p>2 合同発表会</p> <p>能代会場 : 10/23 能代市総合体育館 5 団体出演</p> <p>二ツ井会場 : 10/30 きみまち阪第一広場 4 団体出演</p> <p>3 用具整備補助</p> <p>対 象 : 能代七夕正流会</p> <p>内 容 : 七夕灯籠 (中若 1 体)、田楽灯籠 (12 本) の張替及び骨組み修繕 キバ灯籠 (提灯 5 本) 新調</p> <p>補助額 : 補助対象額 660 千円×1/2=補助額 300 千円 (県補助)</p> <p>4 後継者育成事業</p> <p>各保存会で実施</p> <p>5 各学校での取組</p> <p>二ツ井小学校 : 仁鮎ささら踊 (正課クラブ)</p> <p>向能代小学校 : 鳥形獅子踊 (総合的な学習の時間)</p> <p>能代東中学校 : 檜山舞・鰯淵番楽・鶴形ささら (合同発表会)</p> <p>6 子ども民俗芸能発表会</p> <p>※新型コロナ禍の影響により中止</p> <p>7 その他</p> <p>能代市民俗芸能アーカイブ ※4 年度運用開始 (R5.3.31 現在) ・チャンネル登録者数 52 人</p> <p>・公開動画数 241 本</p> <p>・視聴数 8,087 回</p>		
点検・評価	評価	B	A 目標を上回る B ほぼ目標どおり C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る
	<p>[説明]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連合会構成団体数は 18 団体を維持している。 ・昨年度に引き続き新型コロナ禍の影響が大きいが、3 年ぶりに合同発表会を開催することができ、また地域でもそれぞれ工夫を凝らして祭礼を行った。 ・子ども民俗芸能発表会を開催することができなかった。 		
課題及び今後の取組の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> その他 ()		
	<p>[具体的な課題及び取組]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会員数の減少と会員の高齢化は各保存会共通の課題であるが、即効的な対応は困難である。今後も連合会との連携を深めていくとともに、用具整備等、単位保存会への支援を継続していく。 		
学識経験者の意見	○コロナ禍にもかかわらず、おおむね順調に活動を続けていると思います。会員数の減少と会員の高齢化など難しい問題もありますが、今後とも民俗芸能の保全に力を注いでくださいますよう、お願いします。		

	<p>□ 3年間コロナ禍の影響により中止となっていた合同発表会を行うことができたことは、一歩前進したといえます。また、二ツ井小学校、向能代小学校、能代東中学校が地域の伝統芸能を披露できたことは、継承活動を押し進めるよい結果となりました。</p>
--	--

基本目標	4 ふるさとの伝統文化の継承と文化芸術の振興		
施策項目	② 文化財保護事業の推進		
方針・目標	歴史資料の保存、活用に努めるとともに、国指定史跡檜山安東氏城館跡環境整備計画に基づいた取り組みを推進します。		
事業・取組名	文化財保護事業		
目標値	1 文化財がき損、散逸しないよう保護に努め、現在の指定・登録文化財数を維持します。 2 市民の文化財保護意識の高揚を図るため、関係団体と連携して歴史探訪会を開催し、参加者満足度 80%以上を目指します。		
事務事業の実績	1 指定・登録文化財数 2年度：101件 3年度：101件 4年度：101件 2 案内板等の修繕・設置 ・案内板 「檜山浄明寺山門」「ガソリンっこの軌跡（二ツ井町庁舎内）」 3 関係団体の活動 ①秋田県文化財保護協会能代支部 ・歴史講演会「杉沢台遺跡について」 9/25 於 中央公民館 ・能代鎮守 八幡神社歴史資料展 11/18～20 於 湊城幼稚園 講堂 ②二ツ井町文化財保護協会 研修会 兼 歴史探訪会（※共催） ・「羽州街道一里の渡し脇道～吉田松陰の通った道～探索会」 4/25 於 加護山精錬所跡地、羽州街道脇道ほか ・「梅津政景の造った岩関用水めぐり」 6/21 於 藤里町粕毛岩関用水首工～二ツ井町比井野分水 参加者：のべ 21 名 【満足度 平均 4.95 99%】 4 市所蔵資料等の整理保管 ・古写真パネルの整理 ・個人所蔵資料所在調査 豊嶋家資料 ほか ・寄贈寄託受入 納谷幹夫家所蔵 桜庭藤二郎作品 ほか 5 能代市文化財資料収蔵庫の設置（竣工：令和 5 年 2 月 28 日） ・旧朴瀬小を改修し 1,126 m ² の収蔵スペースを確保		
点検・評価	評価	B	A 目標を上回る B ほぼ目標どおり C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る
	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史探訪会を二ツ井町文化財保護協会と共催で実施したが、満足度は 99%と目標を上回っている。ただし、開催が限定的なため機会拡充に努めたい。 ・能代市文化財資料収蔵庫の整備と並行し、市所蔵資料の整理を実施した。 		
課題及び今後の取組の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> その他（ ） [具体的な課題及び取組] ・収蔵施設を拠点として市所蔵資料の整理保管を進めるとともに、個人所蔵資料の所在調査（追跡調査）及び情報収集に努め、市への寄贈寄託を依頼していく。 ・歴史探訪会について、引き続き参加者の満足できるテーマを設定し、市民の文化財保護意識の高揚を図っていく。		
学識経験者の意見	○歴史資料の保存・活用は文化事業の重要な課題であると考えられます。個人所有の文化財の市外への流出や散逸を防ぐなど、文化財を守る活動を積極的に進めて頂きたいと思います。		

<input type="checkbox"/> 二ツ井町文化財保護協会と共催で実施した歴史探訪会は、昨年度同様99%の満足度を得ることができ、事業が成功したといえます。今後も能代市の文化財保護事業を推進していくことが重要だととらえています。

基本目標	4 ふるさとの伝統文化の継承と文化芸術の振興		
施策項目	② 文化財保護事業の推進		
方針・目標	歴史資料の保存、活用に努めるとともに、国指定史跡檜山安東氏城館跡環境整備計画に基づいた取り組みを推進します。		
事業・取組名	檜山安東氏城館跡保存管理事業		
目標値	計画に基づき檜山城跡の整備・発掘調査を実施するとともに除草等の適切な施設管理を行うことにより、年間1,500人以上の歴史ガイド利用者数を目指します。		
事務事業の実績	<p>1 檜山城跡の発掘調査 調査整備委員会：①7/6 ②11/18 ※現地指導は随時実施 調査箇所：本丸・案内板設置箇所1ヵ所（高山地区） 調査期間：6/1～9/16 調査面積：約149㎡ 檜山城跡発掘調査見学会：8/28（日）参加者 約20名</p> <p>2 史跡の除草 延べ33ha 檜山城跡：遺構箇所 13ha×2回、遊歩道2回 大館跡：遺構箇所 7ha×1回</p> <p>3 檜山城跡の整備 景観伐木：支障木・危険木伐採259本、集積木運搬36t 除伐：1ha 案内板等の設置：2基（茶園・高山分岐）</p> <p>4 民間業者による史跡檜山安東氏城館跡き損への対応 公有化の準備作業 土地家屋調査士協会への測量委託協議</p> <p>5 「のしろ檜山周辺歴史ガイドの会」の活動 利用者数実績 2年度：498人 3年度：487人 4年度：1,004人</p> <p>6 教育普及活動 東雲中学校1年生出前講座 10/18 参加者：25名 秋田県埋蔵文化財報告会 3/4 県生涯学習センター 遺物展示 3/3～3/15 県立図書館2階特別展示室</p>		
点検・評価	評価	B	A 目標を上回る B ほぼ目標どおり C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る
	[説明] ・のしろ檜山周辺歴史ガイドの会の利用者数に関しては、新型コロナの影響が減じたことにより回復の兆しを見せ、前年比で約2倍に増加した。 ・案内板の整備に関し2基設置できた。		
課題及び今後の取組の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> その他（ ） [具体的な課題及び取組] ・整備及び発掘調査体制の充実に努める。 ・史跡への関心を高めるための情報発信のあり方を検討し、様々な手法によるタイムリーな情報提供に努める。 ・民間業者によるき損対応の公有化については、当該地の境界について疑義があるため、専門家の協力を仰ぎながら進めていく。		
学識経験者の意見	○檜山城は安東氏の本城として使われた大規模な山城ですので、その整備は能代市の重要課題であると思います。様々な手法によるタイムリーな情報提供に努めるなど、遺跡の積極的な利用を考えて頂くよう、お願いします。 □のしろ檜山周辺歴史ガイドの会の利用者数が1004人と前年度比の約2倍と		

	<p>なったことは評価が高いといえます。しかし、目標値が1500人となっていますので、今後斬新なアイデアをもって取り組んでください。</p>
--	--

基本目標	4 ふるさとの伝統文化の継承と文化芸術の振興		
施策項目	② 文化財保護事業の推進		
方針・目標	歴史資料の保存、活用に努めるとともに、国指定史跡檜山安東氏城館跡環境整備計画に基づいた取り組みを推進します。		
事業・取組名	埋蔵文化財調査事業		
目標値	開発行為に関わる調査依頼に応じ、確認調査・発掘調査を実施します。 (実施件数/依頼件数=1)		
事務事業の実績	<p>1 本発掘調査：依頼件数2件、実施件数2件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・赤ハゲⅠ・Ⅱ遺跡（県営ほ場整備事業関係） ・平影野遺跡（市都市整備部上野越橋撤去新設工事関係） <p>2 試掘（確認）調査：依頼件数1件、実施件数1件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平影野遺跡（市都市整備部上野越橋撤去新設工事関係） <p>3 試掘（分布）調査：依頼件数3件、実施件数3件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・梯ノ台遺跡近接（民間洋上風力事業関係） ・種柳田地区（県営ほ場整備事業関係） ・二ツ井地区（県営ほ場整備事業関係） <p>4 立会調査：4件</p> <p>梯ノ台遺跡・茱萸ノ木遺跡・砂子田遺跡・小友Ⅲ遺跡ほか</p>		
点検・評価	評価	B	A 目標を上回る B ほぼ目標どおり C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る
	[説明] ・文化財保護法に則り、埋蔵文化財保護事務を遂行できた。		
課題及び今後の取組の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> その他（ ） [具体的な課題及び取組] ・大規模な本調査が重なった際に、現在の職員体制では適正な調査の遂行が困難となる場合がある。 ・文化財保護法に則り、埋蔵文化財保護事務を進める。		
学識経験者の意見	<input type="checkbox"/> 開発行為に関わる調査依頼に応じ、市内の遺跡の発掘・試掘調査が適切におこなわれていることがわかりました。埋蔵文化財はふるさとの宝ですので、引き続き埋蔵文化財の発掘・試掘調査を進めて頂きますよう、お願いします。 <input type="checkbox"/> 4年度で7年目となる「国指定史跡檜山安東氏城館跡環境整備計画」に沿った調査は、順調に進められています。今後も、市民がふるさとの歴史へ理解を深めることができる「本発掘調査」「試掘調査」「立会調査」を適切に進めてほしいと思います。		

基本目標	4 ふるさとの伝統文化の継承と文化芸術の振興																																															
施策項目	③ 文化芸術の振興																																															
方針・目標	文化芸術団体等への支援に努め、芸術鑑賞の機会や活動の場を提供します。																																															
事業・取組名	市民文化振興事業																																															
目標値	文化月間の入場者数について、前年度以上を目指します。																																															
事務事業の実績	<p>1 文化月間の設定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">区 分</th> </tr> <tr> <th>展 示 部 門</th> <th>舞 台 部 門</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4年度 10/15～11/20</td> <td>8団体 入場者数 8,131人</td> <td>14団体 入場者数 503人</td> </tr> <tr> <td>3年度</td> <td>7団体 入場者数 10,621人※1</td> <td>14団体 入場者数 608人</td> </tr> <tr> <td>2年度</td> <td>8団体 入場者数 7,062人</td> <td>24団体 入場者数 932人※2</td> </tr> <tr> <td>元年度</td> <td>9団体 入場者数 8,118人</td> <td>17団体 入場者数 619人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 R3 展示部門は、参加団体数は例年並みであるが、期間中に行われた淳美会による絵画展が第90回記念展であったため、入場者数が増となっている。</p> <p>※2 R2 舞台部門は、県芸文フェスティバルと同時開催。市内の参加は16団体で例年並みだが、市外からの参加団体も多く、例年より団体数及び入場者数が多くなっている。</p> <p>2 市民文化振興（文化芸術団体等への支援等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芸術文化活動事業費補助金（ミュージカル、オペラ等公演費の補助） <ul style="list-style-type: none"> (1) 能代ミュージカル 1,330千円（2/26 来場1,000人/出演140人） (2) 能代市民ミュージカル 1,000千円（12/11 来場743人/出演100人） (3) 能代オペラ音楽祭 0円 → 開催なし ・能代ミュージカルキッズ支援（練習会場使用料等の補助）公演はコロナで中止 ・伝統文化親子教室事業（文化庁/採択3事業） ・文化芸術による子供育成推進事業（文化庁/2小中学校で実施） ・その他（後援、文化会館助成等） <p>3 市所蔵絵画展の開催</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>期日</th> <th>展示テーマ/会場</th> <th>来場者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4年度</td> <td>11/10～13</td> <td>桜庭藤二郎/能代市南部公民館</td> <td>221人</td> </tr> <tr> <td>3年度</td> <td>11/18～22</td> <td>（テーマなし）/二ツ井町庁舎市民フロア</td> <td>200人</td> </tr> <tr> <td>2年度</td> <td>11/7～11</td> <td>大原省三/文化会館中ホール</td> <td>879人</td> </tr> <tr> <td>元年度</td> <td>10/29～11/3</td> <td>（テーマなし）/二ツ井町庁舎大会議室</td> <td>161人</td> </tr> <tr> <td>30年度</td> <td>11/2～6</td> <td>（テーマなし）/本庁舎大会議室</td> <td>420人</td> </tr> <tr> <td>29年度</td> <td>10/25～30</td> <td>（テーマなし）/二ツ井町庁舎市民フロア</td> <td>166人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※H29 二ツ井町庁舎市民ホール使用のため、全日の立会い/カウントなし チラシ配布76枚、芳名帳42人、土日来場（立会い）48人</p> <p>※R3 二ツ井町庁舎市民ホール使用のため、全日の立会い/カウントなし チラシとアンケート配布数、土日来場（立会い）より計上</p>				区 分		展 示 部 門	舞 台 部 門	4年度 10/15～11/20	8団体 入場者数 8,131人	14団体 入場者数 503人	3年度	7団体 入場者数 10,621人※1	14団体 入場者数 608人	2年度	8団体 入場者数 7,062人	24団体 入場者数 932人※2	元年度	9団体 入場者数 8,118人	17団体 入場者数 619人		期日	展示テーマ/会場	来場者数	4年度	11/10～13	桜庭藤二郎/能代市南部公民館	221人	3年度	11/18～22	（テーマなし）/二ツ井町庁舎市民フロア	200人	2年度	11/7～11	大原省三/文化会館中ホール	879人	元年度	10/29～11/3	（テーマなし）/二ツ井町庁舎大会議室	161人	30年度	11/2～6	（テーマなし）/本庁舎大会議室	420人	29年度	10/25～30	（テーマなし）/二ツ井町庁舎市民フロア	166人
	区 分																																															
	展 示 部 門	舞 台 部 門																																														
4年度 10/15～11/20	8団体 入場者数 8,131人	14団体 入場者数 503人																																														
3年度	7団体 入場者数 10,621人※1	14団体 入場者数 608人																																														
2年度	8団体 入場者数 7,062人	24団体 入場者数 932人※2																																														
元年度	9団体 入場者数 8,118人	17団体 入場者数 619人																																														
	期日	展示テーマ/会場	来場者数																																													
4年度	11/10～13	桜庭藤二郎/能代市南部公民館	221人																																													
3年度	11/18～22	（テーマなし）/二ツ井町庁舎市民フロア	200人																																													
2年度	11/7～11	大原省三/文化会館中ホール	879人																																													
元年度	10/29～11/3	（テーマなし）/二ツ井町庁舎大会議室	161人																																													
30年度	11/2～6	（テーマなし）/本庁舎大会議室	420人																																													
29年度	10/25～30	（テーマなし）/二ツ井町庁舎市民フロア	166人																																													

基本目標	4 ふるさとの伝統文化の継承と文化芸術の振興					
施策項目	③ 文化芸術の振興					
方針・目標	文化芸術団体等への支援に努め、芸術鑑賞の機会や活動の場を提供します。					
事業・取組名	文化会館主催事業					
目標値	事業数及び入場者数について、前年度以上を目指します。					
事務事業の実績	1 主催事業					
	No.	開催日	事業名	内容	入場者	
	1	6/5	及川浩治ピアノ・リサイタル	クラシック	331人	
	2	8/4	アメリカ空軍太平洋音楽隊コンサート	クラシック	426人	
	3	9/4	山形交響楽団特別演奏会	クラシック	1,024人	
	4	9/18	第18回みんなで歌うコンサート	市民参加型	208人	
	5	11/13	スターダスト☆レビューコンサート	歌謡	475人	
	6	11/20	能代市文化フェスティバル	会場提供型	503人	
	7	11/22～23	能代山本書道会書道展	会場提供型	165人	
	8	12/15	Jim Butler Group Xmas Jazz Night	歌謡	30人	
	9	3/5	第23回のしろクラシックコンサート	市民参加型	400人	
				4年度合計	9回	3,562人
				3年度合計	9回	3,566人
	2 ロビーコンサート（市民に無料で参加発表できる場を提供）					
	No.	開催日	内容		入場者	
	1	7/3	第132回『岡田琴千流大正琴演奏会』ロビーコンサート		18人	
	2	11/3	第133回『能代科学技術高校吹奏楽部』ロビーコンサート		100人	
	3	11/6	第135回『コカリナコンサート』ロビーコンサート		60人	
	4	12/25	第136回『Xmas TRUMPET Quartetto』ロビーコンサート		50人	
	5	3/18	第137回『能代第一中学校吹奏楽部 スプリングコンサート』ロビーコンサート		100人	
				4年度合計	5回	328人
				3年度合計	3回	190人
	3 文化会館主催事業と学校（芸術鑑賞教室等）との連携					
年度	開催日	事業名	対象	入場者		
4年度	実績なし					
3年度	実績なし					
2年度	実績なし					
元年度	8/28 ほか	リージョナルシアター演劇普及事業	小/高校生	68人		
	9/25 ほか	公共ホール音楽活性化 アウトリーチフォーラム事業	小学生	238人		
30年度	実績なし					

点検・評価	評価	A	A 目標を上回る C 目標をやや下回る	B ほぼ目標どおり D 目標を大幅に下回る
	<p>[説明]</p> <p>ウィズコロナのもと、入場人数の制限や座席の間隔確保等、感染対策をとりながら各公演を企画・開催しており、工夫が見られた。3年度と比較すると、開催数・入場者数ともに増加している。</p>			
課題及び今後の取組の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> その他 ()			
	<p>[具体的な課題及び取組]</p> <p>市民ニーズを反映した事業を展開するため、チケットの販売状況の分析や入場者や市民等に対するアンケートを継続して実施する。また、文化会館内に設置する意見箱への意見はほぼないことから、市民や利用者の声の募集の方法（インターネット等）についても検討していく。</p>			
学識経験者の意見	<p>○3年度に比べて、今年度は開催数・入場者数ともに増加していますので、「A」評価でよいと思います。ただし文化会館主催事業と学校との連携が、ここ3年ほど実績なしとなっています。今後は、この部分についても積極的に事業を推進し、文化会館の有効活用に力を注いでくださいますよう、お願い致します。</p> <p>□ロビーコンサートは、3年度と事業数、入場者数を比較すると増加しており、計画・運営が成功したといえます。中学生・高校生の出演もあり、子どもから大人まで楽しめるコンサートとなっています。これからも地域の人たちの興味・関心を高める文化事業を推進してください。</p>			

基本目標	5 スポーツで輝く夢のあるまちづくりの推進
施策項目	① 学校と地域における子どものスポーツ機会の充実
方針・目標	心身ともに健康な大人となる基礎をつくるため、学校体育と地域のスポーツ活動を支援し、体力の向上に努めるとともに、競技力向上を図ります。
事業・取組名	1 子どもの体力向上の推進 2 小・中学校の体育等に関する活動の充実
目標値	新体力テストにおいて、体力合計点が県平均を上回る学年の割合を80%以上にします。
事務事業の実績	<p>1 子どもの体力向上の推進 関係団体と連携し、各種事業を通して運動の習慣化等に取り組んだ。</p> <p>○主な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・能代市 <ul style="list-style-type: none"> チャレンジデー ※新型コロナの影響により中止 きみまち二ツ井マラソン（参加者1,367人、うち小・中学生222人） NOSHIROバスケットボールフェスタ（1回） ・指定管理者 <ul style="list-style-type: none"> マリンスポーツ教室（6回、天候不良10回中止）※カヌー&ヨット体験他 スポレクフェスタのしろ、ふたつ（1回ずつ） ファミリーいきいき水泳塾（4回） ファミリーいきいき体操塾（4回） ファミリーいきいき陸上塾（4回） ファミリーいきいきスポーツ塾（4回） ・市スポーツ協会 <ul style="list-style-type: none"> ブラウブリッツ秋田サッカークリニックin能代（1回） ・総合型地域スポーツクラブ <ul style="list-style-type: none"> ファミリースポーツ教室（20回）※ミニテニス、卓球、各種レク他 多種目スポーツ教室（47回）※ニュースポーツ他 親子遊び運動教室（23回） 低学年運動教室（23回） ・市スポーツ少年団 <ul style="list-style-type: none"> スポレクフェスタのしろ兼能代市スポーツ少年団交流大会（295人） 体力テスト（7種目のうち、5m時間往復走、腕立て伏せ、立ち3段跳びを各団で測定し結果提出） <p>2 小・中学校の体育等に関する活動の充実</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 体育・保健体育学習の充実に取り組んでいる。 <ul style="list-style-type: none"> ・新体力テスト結果分析を以降の学習指導に生かしている。 ・研修会へ参加し、体育・保健体育学習の充実を図っている。 ・休み時間等を活用した運動を実施している。 ・県の指導者派遣事業等を活用し、専門的な知識や技能を学んでいる。 ② 中学校部活動の活性化を図るため、合同チームなどにより生徒のニーズに応じた運動部活動を推進している。 ③ 児童生徒の運動機会の拡充を図っている。 <ul style="list-style-type: none"> ・県の徒歩通学に関する調査結果を情報提供している。 ・学校訪問等で、体力の維持、向上を図るための指導や助言をしている。

点検・評価	評価	B																																																																																								
	A 目標を上回る				B ほぼ目標どおり								C 目標をやや下回る				D 目標を大幅に下回る																																																																									
1～2 共通 新体力テストでは、ほぼ全ての学年、男女で県平均を上回っている。 ・県平均を上回る学年の割合 83.3% 【4年度新体力テストの体力合計点平均の比較】	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">小1</th> <th colspan="2">小2</th> <th colspan="2">小3</th> <th colspan="2">小4</th> <th colspan="2">小5</th> <th colspan="2">小6</th> </tr> <tr> <th>男子</th> <th>女子</th> <th>男子</th> <th>女子</th> <th>男子</th> <th>女子</th> <th>男子</th> <th>女子</th> <th>男子</th> <th>女子</th> <th>男子</th> <th>女子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>秋田県</td> <td>31.18</td> <td>32.21</td> <td>38.34</td> <td>39.89</td> <td>44.13</td> <td>45.81</td> <td>49.40</td> <td>52.29</td> <td>55.26</td> <td>58.08</td> <td>60.79</td> <td>62.88</td> </tr> <tr> <td>能代市</td> <td>33.01</td> <td>32.93</td> <td>39.55</td> <td>40.80</td> <td>45.51</td> <td>49.12</td> <td>50.34</td> <td>53.98</td> <td>56.42</td> <td>59.88</td> <td>61.05</td> <td>62.59</td> </tr> <tr> <td>比較</td> <td>1.83</td> <td>0.72</td> <td>1.21</td> <td>0.91</td> <td>1.38</td> <td>3.31</td> <td>0.94</td> <td>1.69</td> <td>1.16</td> <td>1.80</td> <td>0.26</td> <td>-0.29</td> </tr> <tr> <td>前年度比</td> <td></td> <td></td> <td>2.13</td> <td>1.96</td> <td>2.62</td> <td>4.34</td> <td>1.43</td> <td>2.09</td> <td>0.83</td> <td>0.58</td> <td>-0.28</td> <td>0.94</td> </tr> </tbody> </table>														小1		小2		小3		小4		小5		小6		男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	秋田県	31.18	32.21	38.34	39.89	44.13	45.81	49.40	52.29	55.26	58.08	60.79	62.88	能代市	33.01	32.93	39.55	40.80	45.51	49.12	50.34	53.98	56.42	59.88	61.05	62.59	比較	1.83	0.72	1.21	0.91	1.38	3.31	0.94	1.69	1.16	1.80	0.26	-0.29	前年度比			2.13	1.96	2.62	4.34	1.43	2.09	0.83	0.58	-0.28	0.94
		小1		小2		小3		小4		小5		小6																																																																														
		男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子																																																																													
	秋田県	31.18	32.21	38.34	39.89	44.13	45.81	49.40	52.29	55.26	58.08	60.79	62.88																																																																													
	能代市	33.01	32.93	39.55	40.80	45.51	49.12	50.34	53.98	56.42	59.88	61.05	62.59																																																																													
	比較	1.83	0.72	1.21	0.91	1.38	3.31	0.94	1.69	1.16	1.80	0.26	-0.29																																																																													
	前年度比			2.13	1.96	2.62	4.34	1.43	2.09	0.83	0.58	-0.28	0.94																																																																													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">中1</th> <th colspan="2">中2</th> <th colspan="2">中3</th> </tr> <tr> <th>男子</th> <th>女子</th> <th>男子</th> <th>女子</th> <th>男子</th> <th>女子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>秋田県</td> <td>34.65</td> <td>44.81</td> <td>44.37</td> <td>50.21</td> <td>51.00</td> <td>52.78</td> </tr> <tr> <td>能代市</td> <td>32.46</td> <td>46.11</td> <td>44.81</td> <td>53.78</td> <td>51.76</td> <td>52.68</td> </tr> <tr> <td>比較</td> <td>-2.19</td> <td>1.30</td> <td>0.44</td> <td>3.57</td> <td>0.76</td> <td>-0.10</td> </tr> <tr> <td>前年度比</td> <td>0.53</td> <td>3.11</td> <td>-0.11</td> <td>3.05</td> <td>1.24</td> <td>0.31</td> </tr> </tbody> </table>														中1		中2		中3		男子	女子	男子	女子	男子	女子	秋田県	34.65	44.81	44.37	50.21	51.00	52.78	能代市	32.46	46.11	44.81	53.78	51.76	52.68	比較	-2.19	1.30	0.44	3.57	0.76	-0.10	前年度比	0.53	3.11	-0.11	3.05	1.24	0.31	<p>※前年度比は、当該学年の1年前の県平均との比較値 例：中2男子の-0.11は中1時の県平均との比較値</p>																																			
		中1		中2		中3																																																																																				
		男子	女子	男子	女子	男子	女子																																																																																			
秋田県	34.65	44.81	44.37	50.21	51.00	52.78																																																																																				
能代市	32.46	46.11	44.81	53.78	51.76	52.68																																																																																				
比較	-2.19	1.30	0.44	3.57	0.76	-0.10																																																																																				
前年度比	0.53	3.11	-0.11	3.05	1.24	0.31																																																																																				
課題及び今後の取組の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> その他 ()																																																																																									
	<p>[具体的な課題及び取組]</p> <p>1 子どもの体力向上の推進 幼児から児童生徒まで運動の習慣化に繋げていくため、関係団体と連携しながら引き続き効果的な事業展開を図る。</p> <p>2 小・中学校の体育等に関する活動の充実 児童生徒に運動習慣や健康的な生活習慣を身に付けさせるため、引き続き各事業の推進を図る。</p>																																																																																									
学識経験者の意見	<p>○新体力テストの結果を見ると、おおむね県平均を上回っていると思います。本事業の引き続きの着実な実施を、お願い致します。</p> <p>□新体力テストは、ほぼ全ての学年で県平均を上回っていますが、中学校1年男子の数値が県平均より下回っていますので、今後の回復に努めてください。</p> <p>□各種事業を充実させるとともに、運動に取り組もうとする意欲を喚起することが体力向上につながると考えます。</p>																																																																																									

基本目標	5 スポーツで輝く夢のあるまちづくりの推進		
施策項目	② ライフステージに応じたスポーツ活動の推進		
方針・目標	成人の週1回以上のスポーツ実施率（市民意識調査）を50%以上にします。		
事業・取組名	1 青・壮年期におけるスポーツ参加機会の拡充 2 高齢者がはつらつと運動・スポーツに参加できる環境の整備 3 健康づくり運動の推進		
目標値	成人の週1回以上のスポーツ実施率（市民意識調査）を、50%以上にします。		
事務事業の実績	1 青・壮年期におけるスポーツ参加機会の拡充 関係団体と連携し子育て世代等の運動機会の確保に取り組んだ。 ○主な事業 <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者 <ul style="list-style-type: none"> 初めてのマシントレーニング教室（能代4回、二ツ井4回） 初めての山登り教室（4回） ステップエクササイズ教室（8回） ・市スポーツ協会 <ul style="list-style-type: none"> バレトン&バランスボール教室（24回） ・総合型地域スポーツクラブ <ul style="list-style-type: none"> 各種講座 ※太極拳、ヨーガ、フィットネス他 多種目スポーツ教室（47回）※ニュースポーツ他 エアロ&ステップエクササイズ（43回） 2 高齢者がはつらつと運動・スポーツに参加できる環境の整備 関係団体と連携し福祉と連動した健康づくり事業を展開している。 <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者 <ul style="list-style-type: none"> シルバースポーツの日（24回）※ラージ卓球、ユニカール他 ・市スポーツ協会 <ul style="list-style-type: none"> 二ツ井シルバースポーツの日（24回）※ラージ卓球、ユニカール他 ・総合型地域スポーツクラブ <ul style="list-style-type: none"> 各種講座 ※ラージ卓球、軽運動、健康増進運動他 3 健康づくり運動の推進 <ol style="list-style-type: none"> ① のしろ歩け歩け大会（63人） ② チャレンジデー ※新型コロナの影響により中止 		
点検・評価	評価	B	A 目標を上回る B ほぼ目標どおり C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る
	[説明] ・成人の週1回以上のスポーツ実施率（市民意識調査） 4年度：54.3%（3年度：51.3%） 3ポイント増。新型コロナにより開催を中止等していた各種イベントが再開され、市民のスポーツ活動に影響を与えたものと考えられる。		

<p>課題及び今後の取組の方向性</p>	<p><input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> その他 ()</p> <p>[具体的な課題及び取組]</p> <p>1 青・壮年期におけるスポーツ参加機会の拡充 継続事業は、各種教室や研修会等それぞれの団体において実施できている。成人の週1回以上のスポーツ実施率が上がったことから、引き続きニーズに対応したプログラムの提供や情報提供の工夫、利用しやすいスポーツ施設の運営等、各団体との連携を図っていく。</p> <p>2 高齢者がはつらつと運動・スポーツに参加できる環境の整備 関係団体等と連携し、引き続き各種事業の推進及び支援を図っていく。</p> <p>3 健康づくり運動の推進 のしろ歩け歩け大会を実施するなど、各種イベントが再開してきている。各団体や地域と連携を深め、週1回以上のスポーツ実施率を引き上げられるよう、引き続きスポーツの習慣化を図っていく。</p>
<p>学識経験者の意見</p>	<p><input type="checkbox"/> 成人の週1回以上のスポーツ実施率の増加が示すように、今後はコロナウィルスの影響がどんどん薄れてくると思います。さらなる工夫を加えて、市民の健康増進に努めて頂きますよう、お願い致します。</p> <p><input type="checkbox"/> 成人の週1回以上の実施率が昨年度より3ポイント増加したことは大きな成果といえます。ニーズに応じたプログラムが充実していた結果ととらえます。</p> <p><input type="checkbox"/> 今後、高齢者の増加と共に、高齢者が健康づくりに取り組むことのできるスポーツ環境づくりに努めてください。</p>

基本目標	5 スポーツで輝く夢のあるまちづくりの推進		
施策項目	③ スポーツを活用した地域の活性化		
方針・目標	バスケの街づくりの推進や特色あるスポーツ事業、全国レベルの大会誘致や支援による交流人口の拡大に努めます。		
事業・取組名	1 スポーツを活用した地域づくり 2 スポーツによる交流人口の拡大 3 「バスケの街づくり」を中心としたスポーツによる街づくりの推進		
目標値	スポーツを活用した、地域のにぎわい創出と各種大会の支援に取り組みます。		
事務事業の実績	1 スポーツを活用した地域づくり ① チャレンジデー ※新型コロナの影響により中止 ② 関係団体と連携したスポーツ合宿等の取り組み ・市スポーツ協会が中心となり実行委員会を組織し、バスケットボールキャラバンサマーリーグin能代を開催した。 2 スポーツによる交流人口の拡大 ① 関係団体、民間企業等と連携したスポーツによる交流の推進 ・きみまちの里フェスティバル（きみまち二ツ井マラソン、物産フェア）を3年ぶりに開催した。 ② 新たなスポーツの魅力の発掘及び開発支援 ③ 大規模なスポーツ大会・イベントと連動した観光誘客 ・能代カップが3年ぶりの開催となった。 ④ スポーツ合宿の誘致 3 「バスケの街づくり」を中心としたスポーツによる街づくりの推進 ① 本物のバスケに触れられる街づくり ② バスケで誰もが集える環境づくり ③ バスケによる地域経済の活性化 ④ バスケがどこでも感じられる街づくり ・能代カップ等への補助金の交付や、市教育長杯ミニバスケットボール大会、バスケットボールフェスタ等の事業を市バスケットボール協会等に委託し継続した。 ・屋外バスケットリングの設置 市内公園等 21カ所23基（4年度末）		
点検・評価	評価	B	A 目標を上回る B ほぼ目標どおり C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る
	[説明] ・新型コロナの影響が軽減し、多くの事業を展開した。 感染対策をとりながら大会やイベントを開催した。		

<p>課題及び 今後の取組の 方向性</p>	<p><input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>継続 <input type="checkbox"/>廃止検討 <input type="checkbox"/>その他（ ）</p> <p>[具体的な課題及び取組]</p> <p>1 スポーツを活用した地域づくり 関係団体等と連携し、引き続き各種事業の推進及び支援を図っていく。</p> <p>2 スポーツによる交流人口の拡大 ・スポーツイベントは競技団体が主体となることが多いことから情報収集し、円滑な運営をしていくよう引き続きノウハウの蓄積に努める。 ・市民への情報発信の方法（広報、市ホームページ、SNS等）について、関係団体と連携し、効率的な伝え方を工夫していく。</p> <p>3 「バスケの街づくり」を中心としたスポーツによる街づくりの推進 関係団体等と連携し、引き続き各種事業の推進及び支援を図っていく。</p>
<p>学識経験者 の意見</p>	<p>○能代市独自の取り組みである本事業は、極めてユニークであり、大変興味深く感じています。能代カップでの能代科学技術高等学校の活躍に、期待しています。</p> <p>□能代カップ、バスケットボールサマーキャンプ等の開催により、市外、県外から多くの観客を招くことができ、バスケによる地域経済の活性化が図られました。「スラムダンク効果」を活用した新たな取り組みにも大いに期待しています。</p>

基本目標	5 スポーツで輝く夢のあるまちづくりの推進		
施策項目	④ 市民が主体的に参画できるスポーツ環境の整備		
方針・目標	総合型クラブの設立支援と地域スポーツ指導者等の人材育成に努めるとともに、安全で利便性の高い施設の充実を図ります。		
事業・取組名	1 地域のスポーツ指導者等の充実 2 スポーツ施設の充実 3 スポーツに関する表彰制度の整備		
目標値	スポーツ関係団体等と連携し、地域のスポーツ指導者等の充実に努め、併せて安全で利便性の高い施設の充実を図ります。		
事務事業の実績	1 地域のスポーツ指導者等の充実 ① 地域のスポーツ指導者の育成と活用 <ul style="list-style-type: none"> ・市スポーツ推進委員会、市スポーツ協会、市スポーツ少年団等研修会の開催や派遣を行った。 ・研修会参加等の支援を行った。 ・スポーツ少年団指導者資格数 38団体 249人 (R3 : 39団体 232人) ② スポーツリーダーバンク等の整備・充実の支援 <ul style="list-style-type: none"> ・市スポーツ協会スポーツリーダーバンク登録者数 12種目 25人 2 スポーツ施設の充実 ① スポーツ施設の整備・改修 <ul style="list-style-type: none"> ・グラウンドゴルフ場 (R4. 10. 1供用開始) ② 学校体育施設等の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・登録スポーツクラブ制度により、学校体育館開放を継続して行った。 (淳城西小、淳城南小、第四小、第五小、向能代小) ③ 利用者ニーズに対応した施設の管理運営と利用促進 <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者による定期点検など安全管理を行っている。 ・施設利用者アンケートの結果を反映して改善に努めた。 ・施設年間利用者数 219,981人 (R3 : 220,318人) ④ 自然環境や屋外施設を活用したスポーツと健康づくりの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・市主催 のしろ歩け歩け大会 (63人) ・指定管理者 マリンスポーツ教室 (米代川河口付近) 3 スポーツに関する表彰制度の整備 <ul style="list-style-type: none"> 児童・生徒の表彰(能代市栄光賞、市スポーツ協会スポーツ賞)を継続して行った。 ・能代市栄光賞 (スポーツ部門) 241人 ・市スポーツ協会スポーツ賞 4人 		
点検・評価	評価	B	A 目標を上回る B ほぼ目標どおり C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る
	[説明] ・各種研修会の開催や派遣を実施・支援することにより、指導者やリーダーの育成と資質の向上を図ることができました。 ・施設の整備等により、利用者が良好なコンディションで競技できる環境整備を行うことができました。 ・体育施設の管理運営に関し、アンケート結果を反映して改善に努めたことにより、利用者ニーズへの対応が図られた。 ・大会等における成績優秀者への表彰を行うことにより、児童・生徒のスポーツ		

	に対する意欲の喚起を図った。
課題及び 今後の取組の 方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> その他（ ） [具体的な課題及び取組] 1 地域のスポーツ指導者等の充実 ・スポーツ環境を整備する上で指導者の養成・確保は重要であり、そのための研修会や人材の発掘等については、引き続き各団体と連携し取り組んでいく。さらに、養成した指導者を効果的に活用するよう市スポーツ協会のスポーツリーダーバンク等による指導者の派遣を行っていく。 2 スポーツ施設の充実 ・適切な施設の維持管理を行う。 ・経年劣化している施設の整備について、計画的な修繕及び改修を行う。 ・長寿命化計画に基づき施設の改修計画の検討を行う。
学識経験者 の意見	<input type="checkbox"/> スポーツ施設の整備をおこなうなど、やるべきことを着実に実施していることが見て取れます。超高齢社会を迎えるにあたり、スポーツ施設というハード面はもちろん、スポーツ指導者のようなソフト面の充実が、重要課題であると感じます。今後とも着実な整備をお願い致します。 <input type="checkbox"/> スポーツ少年団の団員数の減少にともない、団体競技において必要人数を確保することが難しくなっています。また、各団体の指導者の確保が課題になっています。学校や関係機関等との連携を図って、今後の対応策を練ってください。

Ⅲ 教育委員会の運営状況

1 教育委員会の開催状況

(1) 開催状況

定例会 12回 臨時会 2回

(2) 審議された案件等

年月日	区分	番号	件名
R4. 4. 28	定例会	承認 第2号	臨時代理の承認について (損害賠償の額を定め和解することの報告について)
		議案 第19号	能代市学校歯科医の委嘱について
		議案 第20号	能代市学校運営協議会委員の任命について
		議案 第21号	能代市教育支援委員会委員の任命について
		議案 第22号	能代市二ツ井公民館分館長及び主事補の委嘱について
		議案 第23号	能代市二ツ井公民館分館運営委員の委嘱について
		議案 第24号	能代市公民館活動協力員の委嘱について
		議案 第25号	能代市地域学校協働活動推進員の委嘱について
R4. 5. 30	定例会	議案 第26号	能代市学校運営協議会委員の任命について
		議案 第27号	能代市社会教育委員の委嘱について
		議案 第28号	能代市公民館運営審議会委員の委嘱について
		議案 第29号	能代市子ども館運営協議会委員の委嘱について
		議案 第30号	能代市文化会館運営協議会委員の委嘱について
		議案 第31号	能代市公民館条例の一部を改正する条例案に対する意見の申出について
		議案 第32号	令和4年度能代市一般会計補正予算案に対する意見の申出について
R4. 6. 29	定例会	議案 第34号	能代市二ツ井公民館分館運営委員の委嘱について
		議案 第35号	能代市立図書館協議会委員の任命について (追加)
R4. 7. 28	定例会	承認 第3号	臨時代理の承認について (能代市公民館条例の一部を改正する条例の施行期日を定める規則について)
R4. 8. 25	定例会	承認 第4号	臨時代理の承認について (能代市招致外国青年の任用に関する規則の一部を改正する規則について)
		議案 第36号	能代市教育委員会の事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について
		議案 第37号	令和4年度能代市一般会計補正予算案に対する意見の申出について
R4. 9. 26	定例会	議案 第38号	能代市招致外国青年の任用に関する規則の一部改正について

R4. 10. 27	定例会	議案 第 39 号	能代市教育支援委員会委員の任命について
		議案 第 40 号	令和 4 年度能代市一般会計補正予算案に対する意見の申出について
R4. 11. 21	定例会	承認 第 5 号	臨時代理の承認について (損害賠償の額を定め和解することの報告について)
		議案 第 41 号	令和 4 年度能代市一般会計補正予算案に対する意見の申出について
R4. 12. 22	定例会		なし
R5. 1. 26	定例会	承認 第 1 号	臨時代理の承認について (損害賠償の額を定め和解することの報告について)
R5. 2. 17	定例会	議案 第 1 号	第 4 次能代市社会教育振興中期計画について
		議案 第 2 号	能代市学校教育施設整備基金条例案に対する意見の申出について
		議案 第 3 号	能代市公民館条例の一部を改正する条例案に対する意見の申出について
		議案 第 4 号	能代市子ども館条例の一部を改正する条例案に対する意見の申出について
		議案 第 5 号	能代市生涯学習施設サン・ウッド能代条例の一部を改正する条例案に対する意見の申出について
		議案 第 6 号	能代市文化財資料収蔵庫条例案に対する意見の申出について
		議案 第 7 号	令和 4 年度能代市一般会計補正予算案に対する意見の申出について
		議案 第 8 号	令和 5 年度能代市一般会計予算案に対する意見の申出について
R5. 2. 24	臨時会	議案 第 9 号	令和 5 年度能代市立小・中学校教職員の人事異動の内申について
R5. 3. 22	臨時会	議案 第 10 号	令和 5 年度能代市教育委員会関係職員の人事異動の発令について
R5. 3. 27	定例会	議案 第 11 号	能代市立小、中学校管理規則の一部改正について
		議案 第 12 号	能代市招致外国青年の任用に関する規則の一部改正について
		議案 第 13 号	能代市生涯学習施設サン・ウッド能代の管理運営に関する規則の一部改正について
		議案 第 14 号	能代市文化財資料収蔵庫条例施行規則の制定について
		議案 第 15 号	能代市子ども館管理運営に関する規則の一部改正について
		議案 第 16 号	能代市文化財資料収蔵庫処務規程の制定について
		議案 第 17 号	能代市学校歯科医の委嘱について
		議案 第 18 号	能代市学校薬剤師の委嘱について
議案 第 19 号	能代市地域学校協働活動推進員の委嘱について		

	議案 第 20 号	能代市スポーツ推進委員の委嘱について
	議案 第 21 号	能代市子ども館指導員の任命について
	議案 第 22 号	令和 5 年度能代市学校教育指導の重点について
	報告 第 1 号	令和 5 年度能代市社会教育施設等運営方針について

2 教育委員の活動状況

年月日	行 事
R4. 6. 2	能代山本市町教育委員会連合会総会
R4. 8. 14	能代市成人式（令和3年度対象）
R4. 8. 15	能代市成人式（令和4年度対象）
R4. 10. 26	能代山本市町教育委員会連合会委員研修会
R4. 10. 28	能代市教育委員会学校訪問（二ツ井中学校）
R4. 11. 16	〃（能代第一中学校）
R4. 11. 21	能代っ子中学生ふるさと会議
R4. 12. 16	第1回総合教育会議
R5. 3. 12	市内中学校卒業式
R5. 3. 14	市内小学校卒業式
R5. 3. 17	第2回総合教育会議

能代市教育委員会事務点検・評価報告書
(令和4年度対象)

能代市教育委員会

〒018-3192

能代市二ツ井町字上台1番地1

(担当 教育総務課)

電 話 0185-73-2757

FAX 0185-73-6459

E-mail kyouiku@city.noshiro.lg.jp

議案第 35 号

令和 5 年度能代市一般会計補正予算案に対する意見の申出について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）第 29 条の規定により市長から意見を求められたため、教育委員会の意見を求める。

令和 5 年 8 月 24 日提出

能代市教育委員会教育長 高橋 誠也

提案理由

議会の議決を経るべき教育関係議案に対して市長から意見を求められたため、教育委員会の意見を求めようとするものである。

令和5年度能代市一般会計補正予算（第10号）歳入内訳

（単位：千円）

款 項 目	補正前の額	補 正 額	計	説 明
14款 国庫支出金				
2項 国庫補助金				
4目 労働費国庫補助金	0	300	300	○労働施設費補助金 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時 交付金 300
8目 教育費国庫補助金	26,767	33,400	60,167	○小学校費補助金 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時 交付金 14,200 ○中学校費補助金 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時 交付金 7,400 ○社会教育費補助金 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時 交付金 5,200 ○保健体育費補助金 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時 交付金 6,600
15款 県支出金				
2項 県補助金				
7目 教育費県補助金	15,844	△2,275	13,569	○保健体育費補助金 地域スポーツクラブ活動体制整備補助金 △2,275
3項 県委託金				
7目 教育費県委託金	1,932	1,978	3,910	○社会教育費委託金 埋蔵文化財調査委託金 978 ○保健体育費委託金 秋田型部活動支援事業委託金 1,000

令和5年度能代市一般会計補正予算（第10号）歳出内訳

5 款 労働費		1 項 労働施設費		(単位：千円)	
目	補正前の額	補正額	計	説	明
1 勤労青少年ホーム費	5,892	0	5,892	財源振替による	0
2 働く婦人の家費	11,624	0	11,624	財源振替による	0

10 款 教育費		2 項 小学校費		(単位：千円)	
目	補正前の額	補正額	計	説	明
1 学校管理費	202,834	6,068	208,902	小学校管理費	6,068

10 款 教育費		3 項 中学校費		(単位：千円)	
目	補正前の額	補正額	計	説	明
1 学校管理費	177,553	0	177,553	財源振替による	0

10 款 教育費		4 項 社会教育費		(単位：千円)	
目	補正前の額	補正額	計	説	明
1 社会教育総務費	251,243	1,158	252,401	檜山安東氏城館跡保存管理事業費	80
				埋蔵文化財調査事業費	1,078
2 公民館費	128,067	305	128,372	管理運営費	305
3 文化会館費	232,169	0	232,169	財源振替による	0
4 図書館費	93,672	99	93,771	管理運営費	99
5 子ども館費	26,548	19	26,567	施設管理費	19

10 款 教育費		5 項 保健体育費		(単位：千円)	
目	補正前の額	補正額	計	説	明
1 保健体育総務費	64,491	△1,327	63,164	生涯スポーツ推進事業費	△1,327
2 体育施設費	255,410	9,407	264,817	管理運営費	9,407